

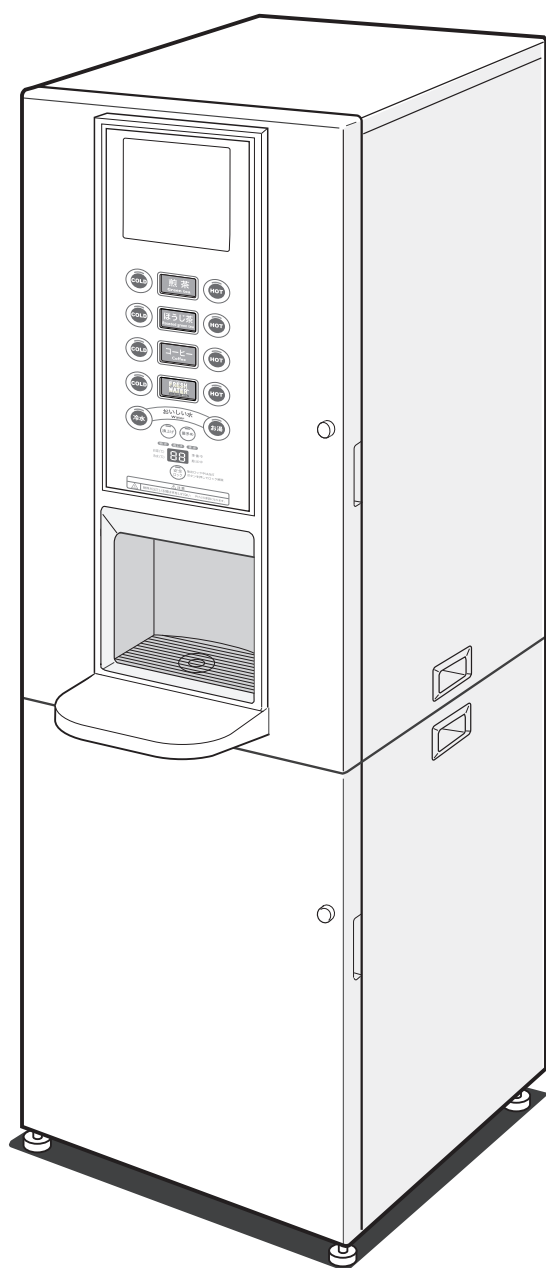
自動お茶いれ機 取扱説明書

形 名

HTC - 1046L

HTC - 836L

HTC - 626L



もくじ

安全上のご注意	1～4
各部のなまえとはたらき	5～8
据付工事	9～15
はじめてご使用になる前に	16
お願い	16
給水のしかた	17
排水のしかた	18～19
原料の入れかた	19
コントローラーの使いかた	20～40
コントローラーで設定できる機能	20
かんたん初期設定	21
メニューキーの機能一覧	22～23
数値設定する機能の設定可能値	24
休止や故障の履歴を見る	25
累計の抽出回数を見る	25
現在時刻を合わせる	26
浄水器の交換時期を設定する	27
冷却用タンクの水の交換時期を設定する	28
週間予約を設定する	29
休日予約を設定する	30
リンスをする	31～32
定期的に沸騰させる	33
原料の種類を設定する	34
基準値を設定する	35
各飲料ボタンの抽出条件(湯水原料量/温度/追加)を設定する	36
カップサイズを一括で設定する	36
給水方式を設定する	37
動作音を設定する	37
湯温を設定する	38
交互抽出を設定する	39
適温になっていないが抽出する	39
省エネ運転モードについて	40
お手入れ	41～44
別売部品	45
修理サービスを依頼する前に	46～47
仕様	47
保証とアフターサービス	48
長期使用製品の安全に関するお願い	49

- このたびは自動お茶いれ機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を販売店から必ずお受けとりのうえ保存してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、据え付け工事をするかた、お使いになるかた、他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
据え付け工事の完了後は、試運転をおこない異常がないことを確認してください。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表 示	表示の意味
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定されること”を示します。

- ＊１：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- ＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
- ＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の説明】

図記号	図記号の意味
 禁 止	⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指 示	●は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 注 意	△は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

【本体ラベルの確認】

本体に警告・注意ラベルを貼り付けてありますので、ご確認ください。もし、ラベルが紛失していたり汚損により見にくいときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

【免責事項】

- 地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、改造、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

警告

据付・配管・電気工事は関連する法規や地方条例と、この取扱説明書に従う
工事に不備があると、火災・感電・水漏れの原因になります。



指示

電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



コンセントを単独で使用する

アース（接地）の取り付けをする

電気設備技術基準および内線規定に従った、D種接地工事（接地抵抗100オーム以下）をおこない、アース線を確実に接続してください。また、設置後は接地抵抗が100オーム以下であることを確認してください。
またアース線はガス管・水道管・避雷針・電話線などへの接続はしないでください。
故障・漏電したときに感電する原因になります。



アースの接続

お茶いれ機本体の近くの操作のしやすいところに、専用止水栓を設ける
水漏れのと看、専用止水栓がないと拡大被害の原因となります。



専用止水栓を設ける

給水配管はステンレス管や合成樹脂内面処理管など、法規や地方条例に適合した材質を使用する
ゴムやビニールのホースを使用すると、水圧により破裂し水漏れの原因になります。



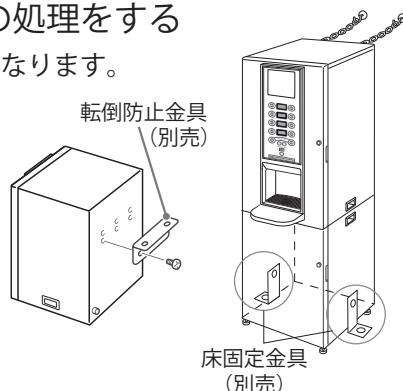
指示

地震などによる転倒防止の処理をする

振動により転倒し、けがの原因になります。

自動お茶いれ機の転倒防止

事故防止と地震などの非常時の安全確保のために、別売の転倒防止金具を使用して、壁や柱に固定してください。部品はお買い上げの販売店にご相談ください。



自動お茶いれ機と別売置台の連結

置台に付属の取付金具B（3枚）を同梱の説明書の通り取り付け、自動お茶いれ機と置台を連結してください。

置台の転倒防止

置台を使用する場合は、グラグラしないように置台の高さ調整脚で高さを調整し、置台を別売の床固定金具で確実に固定してください。



転倒防止

湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない

漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

分解・改造・修理はしない

発火したり、異常動作してけがの原因になります。



分解禁止

漏電遮断器（電源スイッチ）の動作を確認する

故障のまま使用すると漏電のとき感電する原因になります。
漏電遮断器（電源スイッチ）のテストボタンを月に一度押して、動作を確認してください。



動作の確認

異常がある場合は、事故防止のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼する



電源プラグを抜く

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは
使用しない



感電・ショート・発火の原因になります。

傷んだ電源コード、電源プラグ禁止

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 警告

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き乾いた布などでよくふく

ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。



ほこりをとる

部品の取り付け、取りはずし、およびお手入れするときは、電源スイッチを切る
感電やけがの原因になります。



指示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない
ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

原料容器棚に手を触れない

原料の防湿のため高温になっており、やけどをする原因になります。



接触禁止

飲料抽出動作中は、機構部に手を触れない

けがをする原因になります。



接触禁止

湯タンクヒーターを通电させずにご使用になるときは、お買い上げの販売店に依頼し、
必ず湯タンク内の湯を排水してください

再度、湯タンクヒーターを通电させるときは、必ず湯タンク内を洗浄してください

衛生上の問題や故障の原因になります。



衛生注意

⚠ 注意

ガス類や引火物の近くに設置しない（本体の近くにガス類や引火物を置かない）

発火の原因になります。



引火物禁止

配管水路にストレーナーを設ける

お茶いれ機本体に異物が侵入し、水漏れや故障の原因になります。



ストレーナーの設置

給水水圧は 0.1～0.75 MPa の間で使用する

水圧が高いとき、減圧弁を使用しないと、水漏れや故障の原因になります。



減圧弁を使用

配管接続部は確実に接続する

確実に接続しないと、水漏れの原因になります。



接続確認

排水ホースは直接排水口に導く（直接排水式の場合）

水漏れのとき拡大被害の原因になります。



直接排水

工事作業中は手袋を着用する

金属端面などによるけがを防ぎます。



手袋を着用

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く
感電やショートして発火する原因になります。



電源プラグを抜く

月に一度は電源プラグ部分を点検する

電源プラグとコンセントの接触が悪くなり、異常発熱して発火する原因になります。



電源プラグの点検

本体上に重量物を置かない

扉の開閉で落下し、けがをする原因になります。



上乗せ禁止

カップ置台の上に乗ったり、重いものを載せない

カップ置台が破損し、けがをする原因になります。



上乗せ禁止

本体上に水を入れた容器を置かない

水がこぼれ電気絶縁が劣化し、漏電や感電の原因になります。



上乗せ禁止

水道法の水質基準に適合する水を使用する

お湯（30℃以上）や適合しない水を給水すると、衛生上の問題や故障の原因になります。



指 示

スパウトヒーター（原料防湿用）を通電させずにご使用になるときは、お買い上げの販売店に依頼
してください

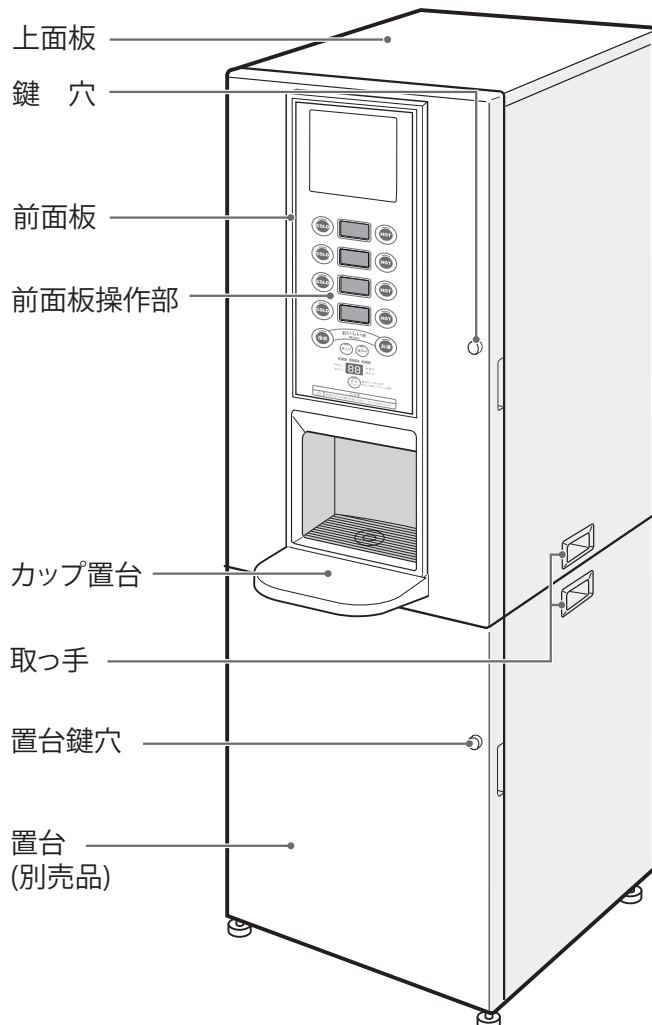


指 示

使用原料の種類や設置場所の環境（室温、湿度等）によって原料が固着する場合があります。

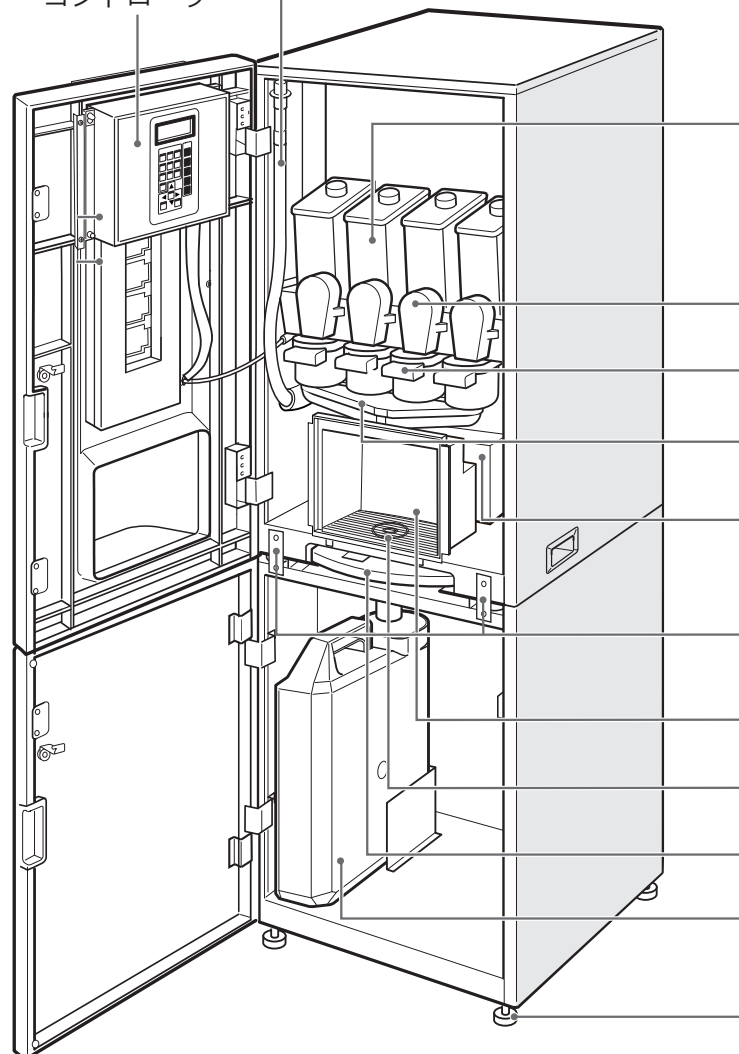
各部のなまえとはたらき

本 体 (図はHTC-1046L)

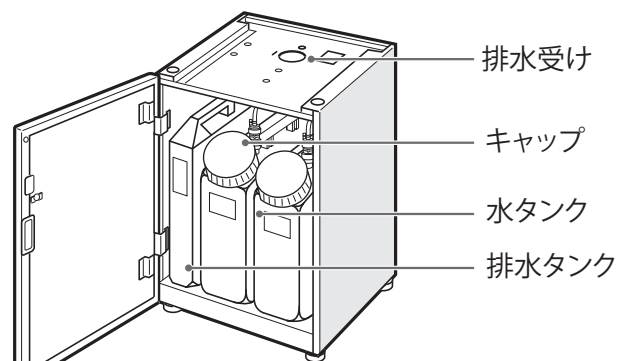
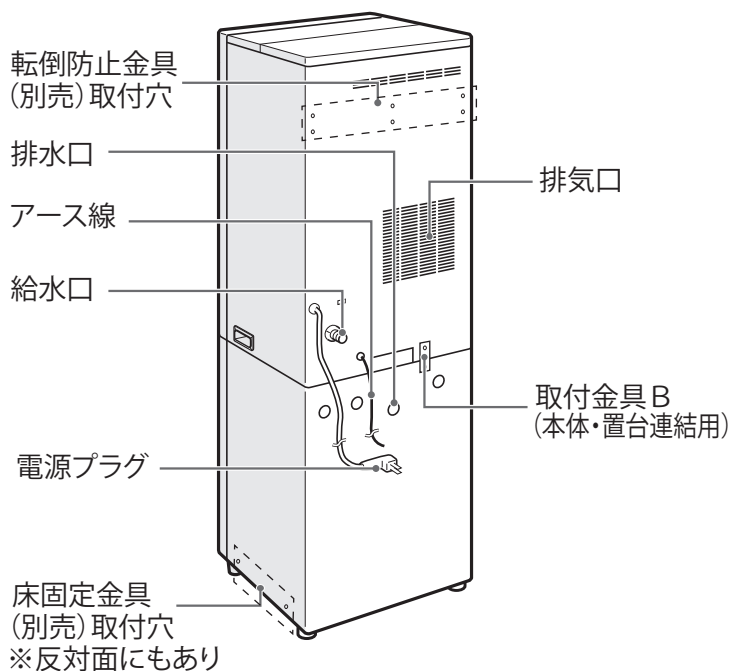


冷却用タンク給水ホース

コントローラー



(別売置台CAT-10LW + 排水容器キット OKT-11L)



(別売置台CT-33LW)

※ 原料容器、原料シュート、ミキシングボールは機種によって個数が異なります。

HTC-1046L …… 4個

HTC-836L …… 3個

HTC-626L …… 2個

詳しくは19ページ「原料の入れかた」をご覧ください。

原料容器※

原料シュート※

ミキシングボール※

集合ロート

フィルター(奥側)

取付金具B
(本体・置台連結用)

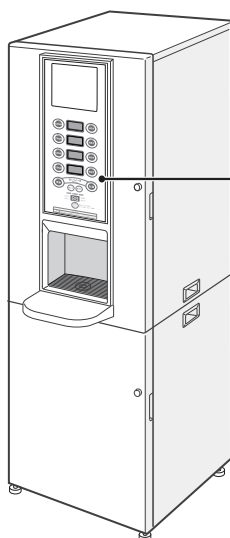
カップ
ステーション

スノコ

排水皿

排水タンク

高さ調節脚



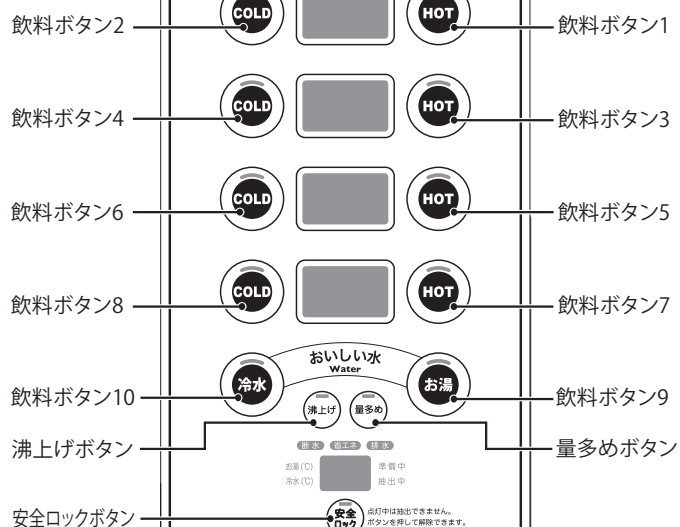
前面板操作部

飲料ボタンとボタンランプ

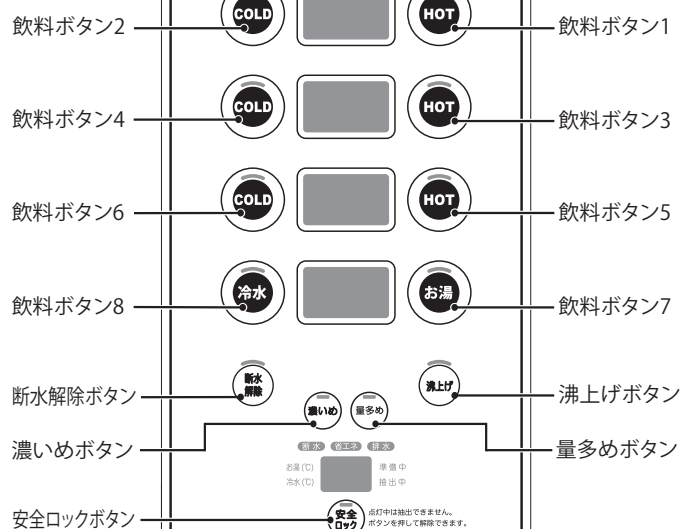
- ・ ボタンランプが点灯している飲料ボタンを押すと抽出することができます。抽出中はボタンランプが点滅します。
- ・ ボタンランプが全て点滅しているときは、リンス中を表します。リンス中は飲料抽出口から湯が出ますので、やけどに注意してください。

※その他のボタンとボタンランプについては、次頁をご覧ください。

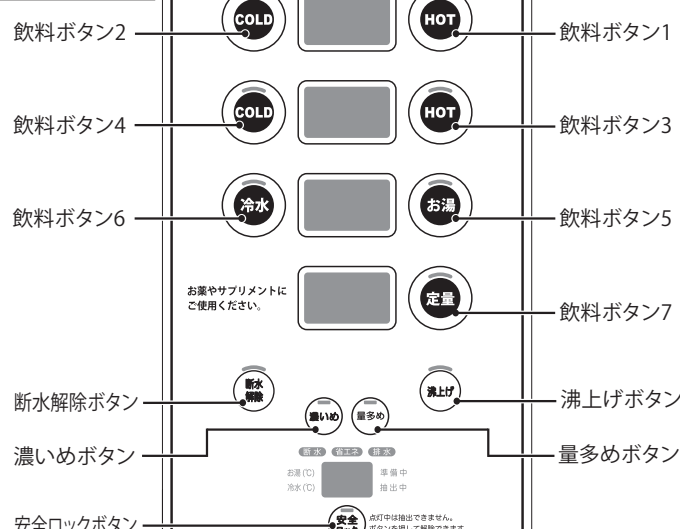
HTC-1046L



HTC-836L



HTC-626L



各部のなまえとはたらき (つづき)

安全ロックボタン

ボタンランプ点灯時は、指定の飲料ボタンがロックされていて、飲料の抽出ができません。
安全ロックボタンを押すとランプが消灯し、飲料ボタンのロックが解除され、飲料の抽出が可能となります。
(出荷時は安全ロックは設定されていません。安全ロックを有効にするにはコントローラーの「安全ロック」キーを押して設定を変更してください。20ページ「コントローラーで設定できる機能」をご覧ください。)

沸上げボタン

沸上げボタンを押すとボタンランプが点滅し、湯タンクの沸騰動作をおこないます。
もう一度沸上げボタンを押すとボタンランプが消灯し、キャンセルします。
(沸騰動作が終了すると、ボタンランプは消灯します。)
(沸騰動作中の間欠ブザー音は、消すことができます。37ページ「動作音を設定する」をご覧ください。)

量多めボタン

量多めボタンを押すとボタンランプが点滅し、飲料の量が追加されます。
もう一度量多めボタンを押すとボタンランプが消灯し、キャンセルします。
(飲料ボタンを押す前に押してください。)

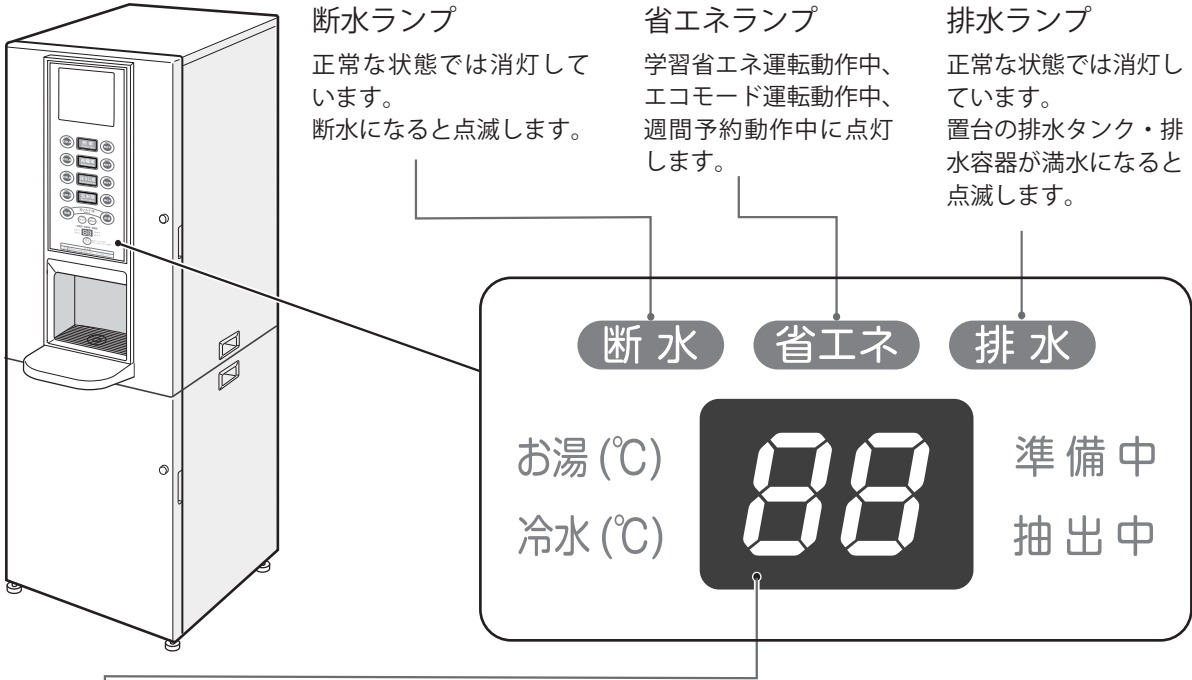
濃いめボタン (HTC-836L・HTC-626Lのみ)

濃いめボタンを押すとボタンランプが点滅し、飲料の濃さが追加されます。
もう一度濃いめボタンを押すとランプが消灯し、キャンセルします。
(飲料ボタンを押す前に押してください。)

断水解除ボタン (HTC-836L・HTC-626Lのみ)

断水解除ボタンを押すとボタンランプが点灯し、「湯断水」「水断水」が解除されます。
46ページの「修理サービスを依頼する前に」の「断水ランプが点滅」を参考に、必ず断水の原因を取り除いてから、断水解除ボタンを押してください。断水の原因を取り除かず断水解除ボタンを押すと、故障の原因となります。
(コントローラーの「断水解除」ボタンでも断水解除できます。20ページ「コントローラーで設定できる機能」をご覧ください。)

前面板マルチインフォメーション部

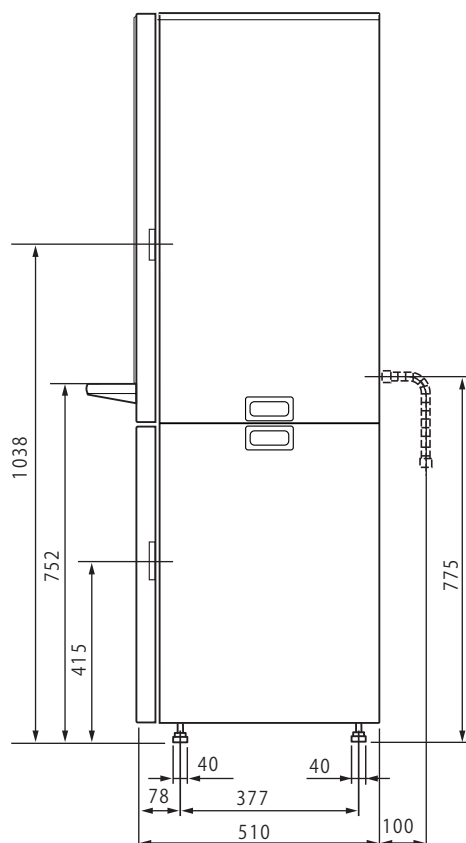
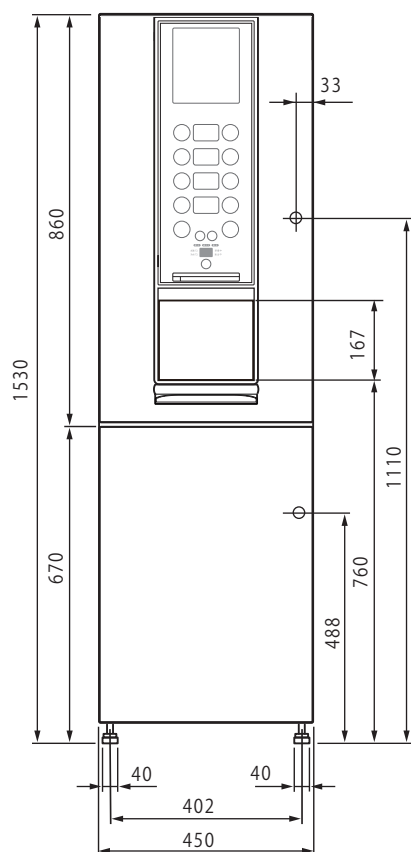
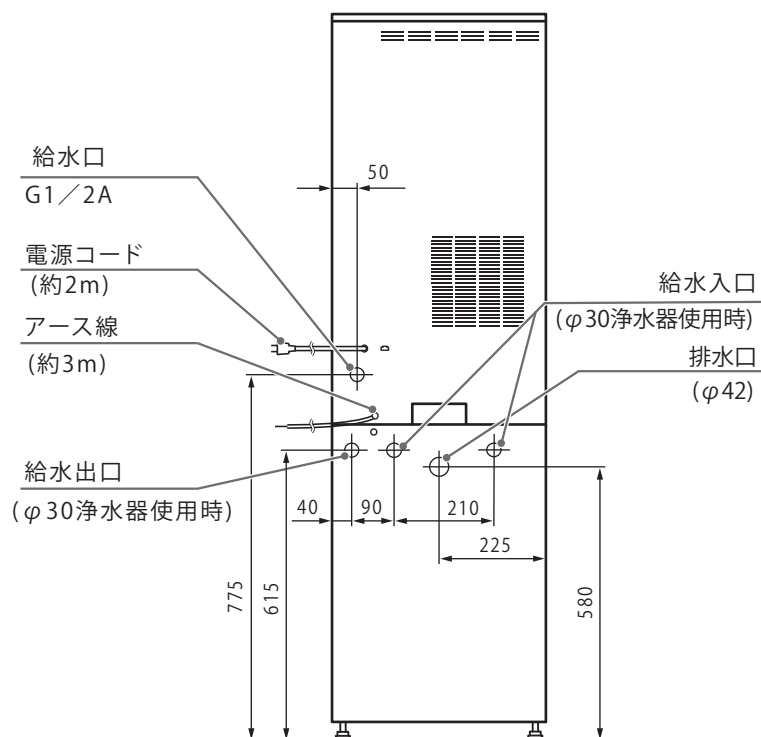
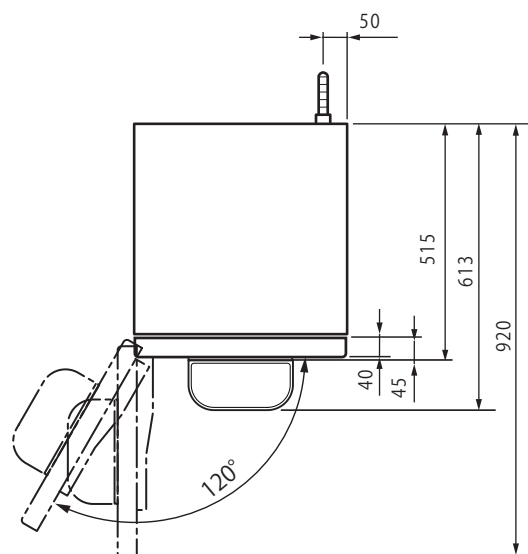


デジタル表示

- ・お湯温度、冷水温度を交互に表示します。
- ・沸騰動作中は、お湯温度を表示します。
- ・飲料抽出中は、抽出終了時間をカウントダウンします。
(カウントダウンは目安としてお使いください。)
- ・故障時は右表の故障メッセージが表示されます。

水センサー開放	F0 (F0)	漏水	F7 (F7)
水センサー短絡	F1 (F1)	電池異常	F8 (F8)
IBC センサー異常	F2 (F2)	コイン信号異常	F9 (F9)
冷水機異常	F3 (F3)	時計異常	FA (FA)
湯センサー開放	F4 (F4)	メモリー異常	Fb (Fb)
湯センサー短絡	F5 (F5)	ディストリビューター異常	Fd (Fd)
加温異常	F6 (F6)	基板間通信異常	FF (FF)

外形寸法



据付工事

輸送のためのテープや保護パッキン類を取りはずす

内部などの包装材や、固定用の接着テープが付着していないか確認します。

⚠ 注意

解梱後、運搬するときは商品側面の取っ手部を持つ

前面板はプラスチック製です。前面部を持つと変形や割れる原因になります。

商品の上に乗らない

商品が変形する原因になります。

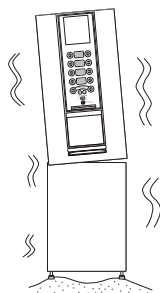


指示

設置環境と据付工事

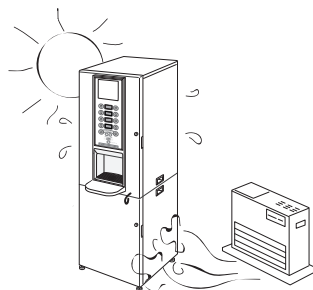
床は丈夫で平坦な場所に据えつける

床が傾いていたり不安定な場所では、転倒したり振動や騒音の原因になります。



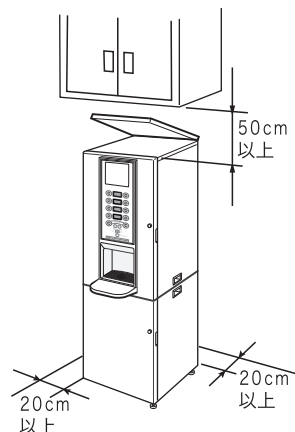
直射日光の当たる場所や、熱器具のそばに据付けない

冷水機の冷却効果が低下したり、過熱し故障の原因になります。



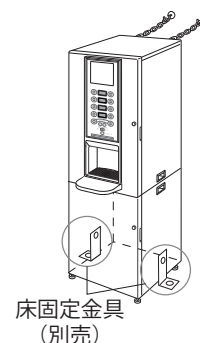
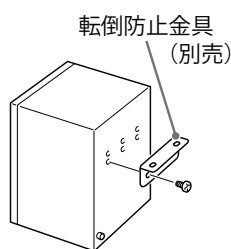
風通しが良く保守や修理サービスの容易なところに据え付ける

必ず両側面と後面は20 cm以上の隙間を開けてください。スペースを開けないと換気効率が悪くなったり、扉を開けたとき物に当たったりします。また、上側は修理サービスのために、上面板が開けられるように50 cm以上空間を開けてください。



転倒防止処理をする

2 ページの内容に従い、自動お茶入れ機と別売り置台の連結と転倒防止金具の取付をおこなってください。



⚠ 警告

湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない
漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

地震などによる転倒防止の処置をする
振動により転倒し、けがの原因になります。



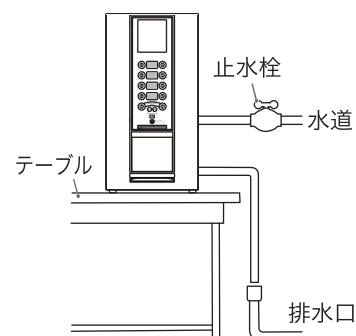
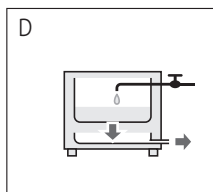
転倒防止

給水排水方式について

据付場所や給水・排水の方法により4つのタイプがあります。

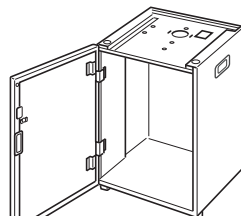
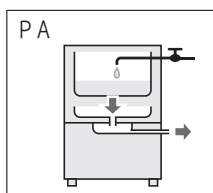
Dタイプ（水道直結・直接排水・卓上式）

既存のテーブルやカウンターの上にセットし、給水は水道に直結し、排水は排水口に直接排水して使用します。

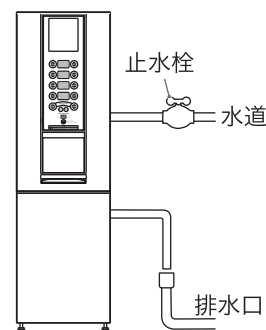


PAタイプ（水道直結・直接排水式）

別売置台CAT-10LWの上にセットし、給水は水道に直結し、排水は排水口に直接排水して使用します。置台内部に除菌浄水器（水フィルター）が組込まれているタイプと組込まれていないタイプがあります。

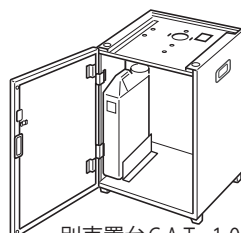
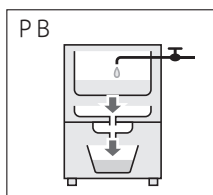


別売置台CAT-10LW

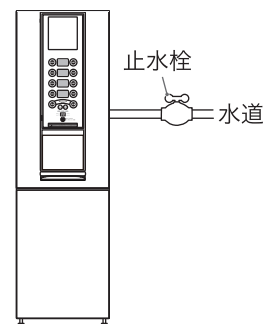


PBタイプ（水道直結・排水容器付）

別売置台CAT-10LWに別売排水容器キットOKT-11Lにて排水容器を取り付けます。改造した置台の上にセットし、給水は水道に直結し、排水は排水タンク（10L）に排水して使用します。



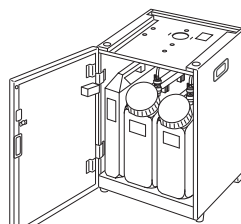
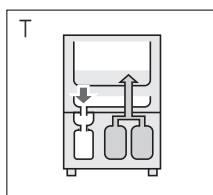
別売置台CAT-10LW
+ 別売 排水容器キットOKT-11L



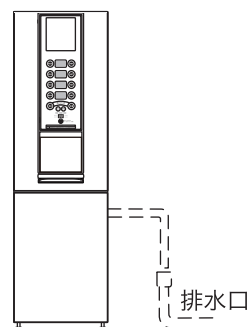
Tタイプ（下部給水・排水容器付）

給水は置台の水タンク（15L×2個）から内蔵ポンプで自動給水をおこない、排水は排水口へ直接排水、または置台の排水タンク（10L）に排水することができます。置台内部に除菌浄水器（水フィルター）が組込まれています。ポンプ電源は本体からとり、電源コンセントはいりません。

※ 排水は、直接排水と容器排水のどちらかを選択できます。工場出荷時は容器排水式にセットされていますが、排水設備のある場合は、極力、直接排水式でお使いください。万一水漏れの場合に拡大被害を防ぎ、排水を捨てる手間もかかりません。（13ページ参照）



別売置台CT-33LW

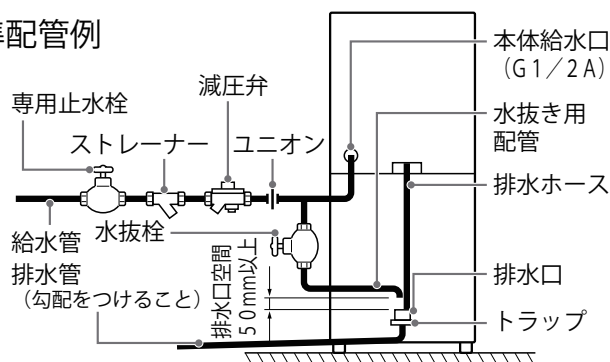


据付工事 (つづき)

配管工事

上水道を使用する場合は、当該水道局の条例に基づき、認定工事業者が施工してください。

標準配管例



※水抜き用配管は逆流防止のため、排水口空間を50mm以上確保してください。

給水配管

配管工事は据付地区の気象条件にあわせ、標準配管例に準じて施工します。

また、寒冷地区は凍結防止処理を標準配管例に準じて施工します。

配管は耐食性のあるステンレス管や合成樹脂内面処理管などを水質により選定し、配管材料は切断後、必ずバリを取って使用してください。

配管材料を自動お茶いれ機本体に接続する前に、必ず捨て水をして配管内のゴミ・シール材などを洗い流してから接続してください。油汚れ、バリやゴミなどが入ると動作不良や異味、異臭の原因になります。

保守や点検のときや、水漏れの対策として給水側に専用止水栓と水抜栓と減圧弁を設け、減圧弁の出口側にはユニオンを設けてください。

また、専用止水栓の後にストレーナーを設けることにより、給水側から自動お茶いれ機本体への異物進入を防ぎます。

排水配管

使用する排水管は、熱いお湯が流れるので、耐熱性のある管を使用してください。また、防臭・湯気の逆流防止のためにトラップを設けてください。排水ホースを直接、排水口に導き排水ホースの先端を中に50mm以上差し込みます。

このときに排水ホースは排水皿の流水が流れやすいように下り勾配にし、先端がつぶれたり、配水管に密着してふさがれていないか確認してください。

別売の漏水検知装置の取り付けをおすすめします

万一の水漏れのときに、給水を止め拡大被害を防ぎます。据付けのタイプにより適合する漏水検知装置はつぎの通りです。

Dタイプ・PAタイプをご使用される場合・・・漏水検知装置（RKT-25）

PBタイプ・Tタイプをご使用される場合・・・リード線付漏水センサー（RKT-03P）

ドレンパン（RKT-01P）

Dタイプ（卓上）で使用する場合〔水道直結・直接排水式〕

給水配管の接続

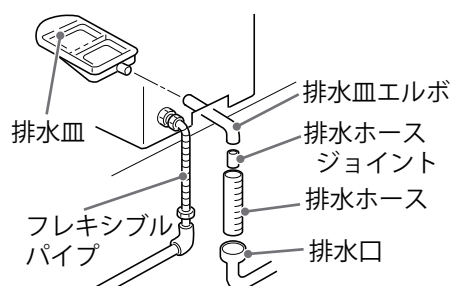
自動お茶いれ機本体背面の給水口に、ユニオン継手やフレキシブルパイプなどを使用して、給水配管します。給水口の口径はG1/2Aです。

排水配管の接続

排水皿に付属の排水皿エルボ、排水ホースジョイント、排水ホースの順に接続します。排水ホースは直接、排水口に導き排水ホースの先端を排水口の中に、50mm以上差し込んでください。

この時、排水ホースの先端がつぶれたり、配水管に密着してふさがれていないか確認してください。

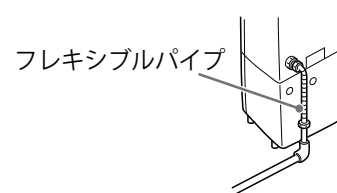
排水ホースがふさがれていると排水されません。



PAタイプ（別売置台CAT-10LW）で使用する場合 [水道直結・直接排水式]

給水配管の接続（浄水器無の場合）

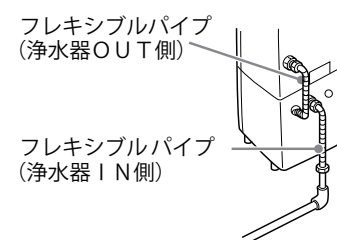
自動お茶いれ機本体背面の給水口に、ユニオン継手やフレキシブルパイプなどを使用して、給水配管します。給水口の口径はG 1/2 Aです。



給水配管の接続（浄水器付の場合）

別売置台の背面の穴からユニオン継手やフレキシブルパイプなどを使用して、置台内部の浄水器のIN側の継手に給水配管をします。継手の口径はG 1/2 Aです。

別売置台に付属するフレキシブルパイプで浄水器のOUT側の継手と自動お茶いれ機本体背面の給水口との間を水漏れのないように確実に接続します。

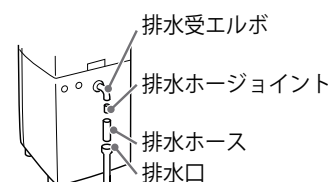


排水配管の接続

「別売置台を使用する場合の排水皿処置」(13ページ参照)をおこない、置台の背面から出ている排水受けエルボに、排水ホースジョイント、排水ホースの順に接続します。

排水ホースは直接、排水口に導き排水ホースの先端を排水口の中に、50mm以上差し込んでください。

この時、排水ホースの先端がつぶれたり、配水管に密着してふさがれていないか確認してください。

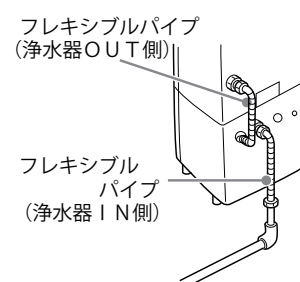


PBタイプ（別売置台CAT-10LW+別売排水容器キットOKT-11L）で使用する場合 [水道直結・容器排水式]

給水配管の接続

別売置台と排水容器キット排水タンクを取付けた置台の背面の穴から、ユニオン継手やフレキシブルパイプなどを使用して、置台内部の浄水器のIN側の継手に給水配管をします。継手の口径はG 1/2 Aです。

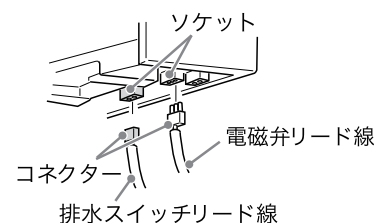
別売置台に付属するフレキシブルパイプで浄水器のOUT側の継手と自動お茶いれ機本体背面の給水口との間を水漏れのないように確実に接続します。



リード線の接続

自動お茶いれ機本体の電源スイッチ（漏電遮断器）が切れていることを確認します。別売置台の排水スイッチと電磁弁のリード線のコネクターを、自動お茶いれ機本体底部のソケット部へ差し込みます。自動お茶いれ機本体の排水皿を取り出し、その隙間から覗いて作業するとソケット部が見え、作業しやすくなります。

リード線の接続を間違えると、故障になります。



排水配管の接続

「別売置台を使用する場合の排水皿処置」(13ページ参照)をおこない、置台上部の排水受けエルボの排水口が、排水容器の上に位置していることを確認し、置台上部に取り付けてあるフロートを排水容器の中に入れます。フロートを正しく入れないと水漏れになります。

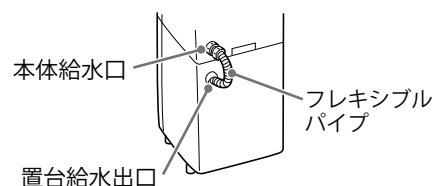
据付工事 (つづき)

Tタイプ (別売置台CT-33LW) で使用する場合

[下部給水・容器排水または直接排水式]

給水配管の接続

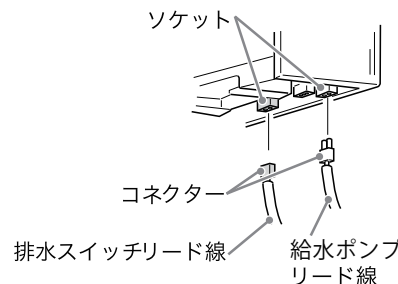
別売置台に付属するフレキシブルパイプで浄水器のOUT側の継手と自動お茶いれ機本体背面の給水口との間を水漏れのないように確実に接続します。



リード線の接続

自動お茶いれ機本体の電源スイッチ (漏電遮断器) が切れていることを確認します。別売置台の排水スイッチと給水ポンプのリード線のコネクターを、自動お茶いれ機本体底部のソケット部へ差し込みます。自動お茶いれ機本体の排水皿を取り出し、その隙間から覗いて作業するとソケット部が見え、作業しやすくなります。

リード線の接続を間違えると、故障になります。

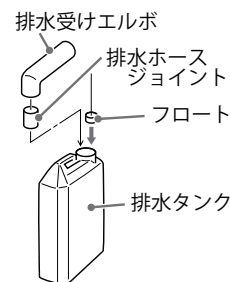


排水方式の選択と排水配管の接続

排水は、直接排水と容器排水のどちらかを選択できます。工場出荷時は容器排水式にセットされていますが、排水設備のある場合は、極力、直接排水式でお使いください。万一水漏れの場合に拡大被害を防ぎ、排水を捨てる手間もかかりません。

容器排水の場合

「別売置台を使用する場合の排水皿処置」をおこない、置台上部の排水受けエルボの排水口に排水ホースジョイントを15mm差し込み、置台上部に取り付けてあるフロートを排水タンクの中にいれてください。フロートを正しく入れないと水漏れになります。



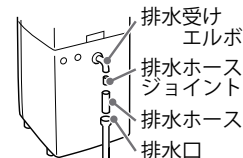
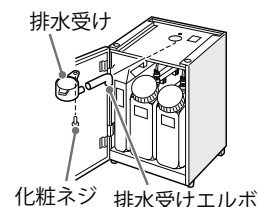
直接排水の場合

「別売置台を使用する場合の排水皿処置」をおこない、置台上部の排水受けを化粧ネジ (1本) を取って取りはずします。

別売置台背面のシールを剥がし、排水受けに接続された排水受けエルボが、置台背面に突き出るように排水受けを取り付けます。

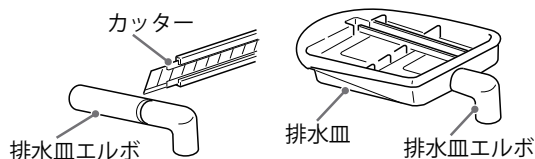
排水受けエルボに、排水ホースジョイント、排水ホースの順序に接続します。

排水ホースは直接、排水口に導き、排水ホースの先端を排水口の中に50mm以上差し込んでください。この時、排水ホースの先端がつぶれたり、配水管に密着してふさがれていないか確認してください。



別売置台を使用する場合の排水皿処置

- ①自動お茶いれ機本体に付属の排水皿エルボを、切込線からカッターなどで切断します。
- ②排水皿エルボを、先端が下向きになるように、排水皿に接続します。
- ③排水皿を自動お茶いれ機本体にセットし、排水皿エルボの先端が置台上部の排水受けに、正しく向いていることを確認します。



電気工事

電気設備に関する技術基準および内線規定に基づき、指定工事業者が施工してください。

アース（接地）線の接続

電源を接続する前に、アース（接地）はD種接地工事（接地抵抗100オーム以下）をおこない、確実に接続してください。また、施設後は、接地抵抗が100オーム以下であることを必ず確認してください。

電源の接続

電源は単相交流100Vを使用し、15A以上の専用コンセントを使用してください。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が発火し、火災の原因になります。

また、専用コンセントは自動お茶いれ機本体が異常のときに、電源プラグを抜くことができる場所に施工してください。

警告

アース（接地）の取り付けをする

電気設備技術基準および内線規定に従った、D種接地工事（接地抵抗100オーム以下）をおこない、アース線を確実に接続してください。また、設置後は接地抵抗が100オーム以下であることを確認してください。故障・漏電したときに感電する原因になります。



アースの接続

電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



コンセントを単独で使用する

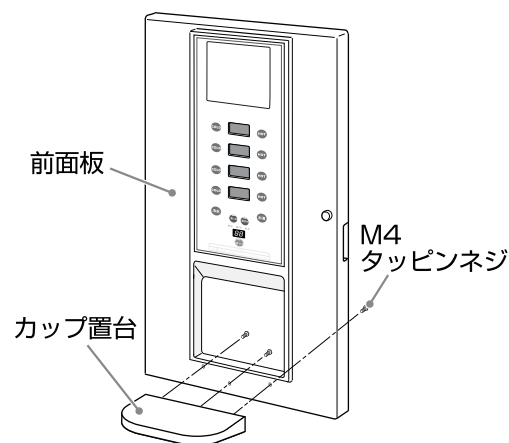
カップ置台の取り付け方法

前面板裏側の下部にあるネジ穴ガイド3ヶ所にφ4.3～4.7の穴を開け、付属のM4タッピンネジでカップ置台を確実に固定します。

このときの締め付け力は0.8～1.0N・mにしてください。

強く締め付けると、カップ置台が破損する恐れがあります。

また、取り付け後、ぐらつかず取り付けられていることを確認します。



据付工事 (つづき)

チェックポイントと試運転

配管工事、電気工事が終了しましたら、次の順序でチェックし、試運転してください。

据付後のチェックポイント

配管工事後のチェックポイント

- 据え付けた床面の強度は十分ですか？
- 自動お茶入れ機本体は、ぐらつかず安定していますか？
- 配管は据え付けられた地区の基準に従っていますか？
- 専用止水栓は、ついていますか？
- ストレーナー、減圧弁の取付方向と位置は適切ですか？

直接排水の場合

- 排水ホースは、折れ、曲がり、ねじれはありませんか？
- 排水ホースの先端が排水口の中に50mm以上差し込まれていますか？
- 排水ホースの先端がつぶれたり、配水管に密着してふさがっていませんか？

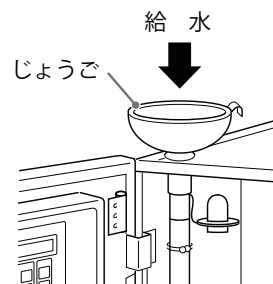
電気工事後のチェックポイント

- アースの接続は確実ですか？
- 接地抵抗を測定し100オーム以下でしたか？
- 電源プラグは、専用コンセント（100V15A以上）に確実に接続してありますか？

試運転

1. 冷却用タンクに給水する

- ① 本体上部中央のネジ（1本）を外し、上面板を外してください。
- ② 給水ホースは自動お茶入れ機本体内部左側面にあります。
ホースを本体にセットしたまま、ホース先端のキャップを外し、上面の左手前にある穴からじょうごを入れてホースの先端に差し込んでください。
（じょうごは本体内部左側面の下側にあります）
- ③ 周囲に水をこぼさぬよう上から給水してください。冷却用タンク（4.9L）が満水レベルになりますと、排水皿に水が流れますので、給水を止めてください。
じょうごを外して、ホースの先端をキャップで確実に閉めてください。
- ④ 上面板を取り付けネジで確実に固定してください。



2. 自動お茶入れ機本体に給水する

「給水のしかた」（17ページ参照）に従って給水してください。

3. 排水する

「排水のしかた」（18～19ページ参照）に従って排水してください。

試運転時のチェックポイント

- 給水中、給水完了後に自動お茶入れ機本体、および各配管接続部から水漏れはありませんか？
- 排水時の水漏れを確認しましたか？水漏れがなく排水できることを確認してください。
- PB/Tタイプを容器排水でご使用の場合に、休止モニターを確認しましたか？
別売置台のフロートを持ち上げると、排水ランプが点滅し、コントローラーの休止モニターに「廃液タンク満水」の表示がでることを確認してください。
- 漏電遮断器（電源スイッチ）のテストボタンを押して「切」になることを確認しましたか？
電源スイッチは漏電遮断器をかねています。テストボタンを押し、レバーが「切」にれば正常です。

はじめてご使用になる前に

電源の入れかた

前面板を開けて、電源スイッチを兼ねている漏電遮断器のレバーを上にあげると電源が入ります。

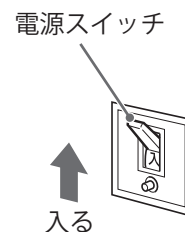
電源スイッチは、常時入れたままでご使用ください。

夜間等に電源スイッチを切っておくと、防湿ヒーターが働かず原料が固まり出なくなることがあります。

別売置台CT-33LWをご使用の場合

電源を入れる前に、置台の水タンク2個に満水レベルまで給水してください。

水タンクが空の状態で電源を入れると、ポンプが故障する原因になります。



より衛生的にご使用いただくために

工場出荷時にタンクや本体内の配管内部を洗浄していますが、より衛生的にご使用いただくために、つぎの手順を2～3回繰り返し内部を洗浄してください。

1. 「給水のしかた」(17ページ参照)に従い給水します
2. 前面板操作部の各飲料ボタンを押し、それぞれコップに4～5杯分の水を排水します
3. 「排水のしかた」(18～19ページ参照)に従い本体内部の水を排水します
4. 再度、給水してからご使用ください

お願い

長時間お使いにならないとき

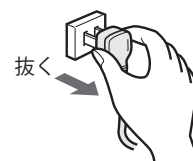
2日以上ご使用にならなかったとき

雑菌が繁殖している恐れがあります。湯タンクの水を排水し、新しい水道水と入れ替えてください。

前面板を開け、電源スイッチを切り、カップステーションを取りはずし、湯排水コックを「開」にして排水します。排水が終了したら湯排水コックを「閉」にし、再度電源スイッチを入れます。

また、本体内の残水をすてるために、飲料ボタンの「冷水」を5～6回押します。

日常のお手入れは、湯排水コックを閉じておこなってください。



1週間以上ご使用にならないとき

原料容器の原料を全部取り出します。止水栓を閉め排水し、電源スイッチを切り、電源プラグを

コンセントから抜いて、「排水のしかた」(18～19ページ参照)に従い排水してください。

別売置台(CT-33LW)をご使用の場合は、水タンクと排水タンクの水も、必ず排水してください。

お願い

別売置台CT-33LW、排水容器キットOKT-11Lの排水タンクに排水するときは、自動お茶いれ機本体の湯タンクの容量が、排水タンクの容量(10L)より多くなります。排水するときは必ず2回以上に分けて、溢れさせないように排水してください。

お湯と水の配管部分は定期的に点検してください

水の中に含まれている成分の量により、水あかや沈殿物が発生し、故障の原因となる場合があります。

点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

お手入れをするとき

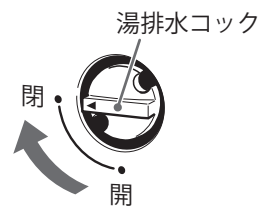
クレンザー、シンナー、ベンジン、灯油、アルコール、ベンゾールなどを使用しないでください。

変質・変色・破損の原因となる場合があります。

また、樹脂部品にハンドクリーム等が付着したまま放置すると、変色の原因となる場合がありますので、付着した場合は速やかにふき取ってください。

給水のしかた

前面板を開け、カップステーションを取りはずし、湯排水コックが閉まっていることを確認します。



湯タンクへの給水

Dタイプ(水道直結・直接排水・卓上式)、PAタイプ(水道直結・直接排水式)またはPBタイプ(水道直結・排水容器付)の場合

1 止水栓を開き給水する

水道の止水栓を開き、本体内部や給水配管からの水漏れがないことを確認します。



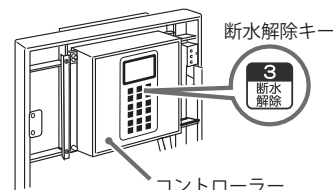
2 電源を入れる

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを上げ電源を入れます。湯タンクに自動的に給水されます。



3 断水や一度で満水にならないとき

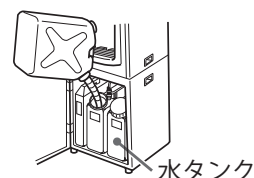
断水や一度で満水にならないときは、断水ランプが点滅して給水を一時中止します。水道の給水を確認しコントローラ操作部の「断水解除」キーを押してください。給水を再開します。



Tタイプ(下部給水・排水容器付)の場合

1 置台の水タンクに給水する

ポリタンクなどで、置台の水タンク2個に満水レベル(15L)まで給水します。

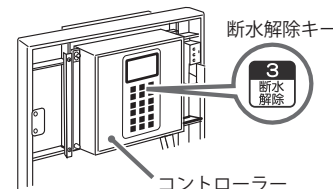


2 電源を入れる

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを上げ電源を入れます。湯タンクに自動的に給水されます。



3 水タンクが空になったり一度で満水にならないとき
水タンクが空になったり、一度で満水にならないときは、前面板の断水ランプが点滅し、給水を中断します。水タンクに水を補給しコントローラ操作部の「断水解除」キーを押すと、給水を再開します。



⚠ 注意

2つのタンクに給水してから電源を入れる

1つのタンクに給水しただけでは正常に動作せず、故障の原因になります。



指示

冷却用タンクへの給水

「冷却用タンクに給水する」(15ページ参照)の給水方法に従ってください。
(満水になると休止モニターの「冷却水なし」の表示が消えます)

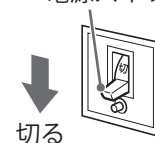
排水のしかた

(つづく)

湯タンクの排水

- 1 電源スイッチを切る
前面板を開け、漏電遮断器のレバーを下げ電源を切ります。
電源スイッチを切らないと、排水中に給水してしまいます。
- 2 湯排水コックを開き排水する
カップステーションを取りはずし、湯排水コックを開きます。
別売置台の排水タンクに排水するときは、自動お茶いれ機本体の湯タンクの排水量が、排水タンクの容量(10L)より多くなる場合があります。排水するときは必ず2回以上に分けて、溢れさせないように排水してください。
- 3 湯排水コックを閉じる
排水が完了したのを確認し湯排水コックを閉じます。

電源スイッチ



お願い

2日以上ご使用にならないときは、雑菌繁殖の恐れがあります。湯タンクの水を排水してください。

冷却用タンクの排水

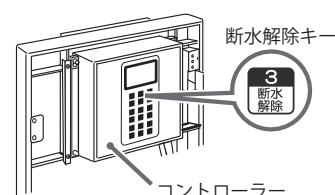
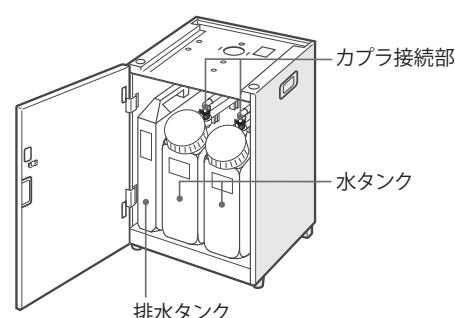
冷却用タンクの排水は「年に一度のお手入れ」(44ページ参照)の排水方法に従ってください。

別売置台 (CT-33LW) 水タンクの排水

湯タンクの排水をしてから、水タンクの排水をしてください。

- 1 湯排水コックを開き、電源を入れる
前面板を開けカップステーションを取りはずし、湯排水コックを開き電源を入れます。
湯排水コックを開いたままで電源を入れることにより、水タンクの水を湯タンクに給水しながら排水がおこなえます。約5分が過ぎると自動的に給水が停止します。排水が足りないときは、コントローラ操作部の「断水解除」キーを押してください。
排水量が排水タンクの容量(10L)より多い場合は、必ず2回以上に分けて溢れさせないように排水してください。
- 2 カプラをはずし残水をすてる
水タンクの水がほぼ無くなったら、電源を切り水タンク上部のカプラをはずし、水タンクを取り出し残水をすてます。
- 3 湯排水コックを閉じる
排水が完了したのを確認し、湯排水コックを閉じます。

湯排水コック



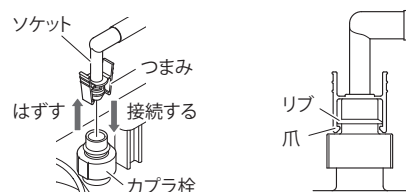
お願い

別売置台CT-33LWは、2日以上ご使用にならないときは、雑菌繁殖の恐れがあります。水タンクの水を排水してください。

排水のしかた (つづき)

●カプラの着脱

はずすときは、ソケットのつまみを持って、上方へ持ち上げてはずします。
接続のときは、ソケットをカプラ栓の突き当たりまで差し込み、カプラ栓のリブにソケットのつまみの爪を引っ掛けて固定します。
接続するときには、ソケットの爪がカプラ栓のリブに引っかかって固定されていることを確認してください。爪がはずれていると、使用中にソケットがはずれるおそれがあります。



お願い

ソケットは、まっすぐカプラ栓に挿入してください。斜めに挿入すると密閉性が悪くなり、水を吸い上げなくなる場合があります。

原料の入れかた

指定の原料以外はご使用にならないでください。

原料の種類によって粒度や吸湿性が異なると、正常な動作ができないことがあります。

詳しくは、販売店にご相談ください。

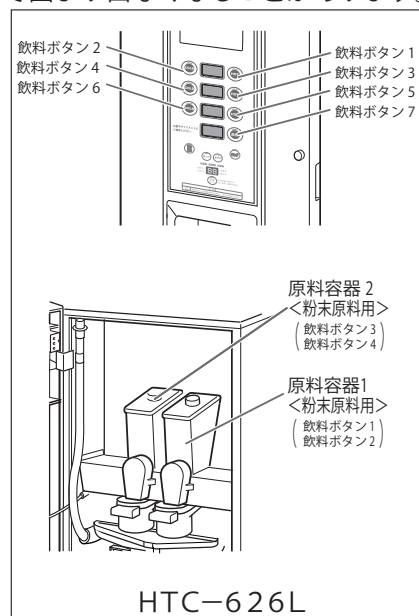
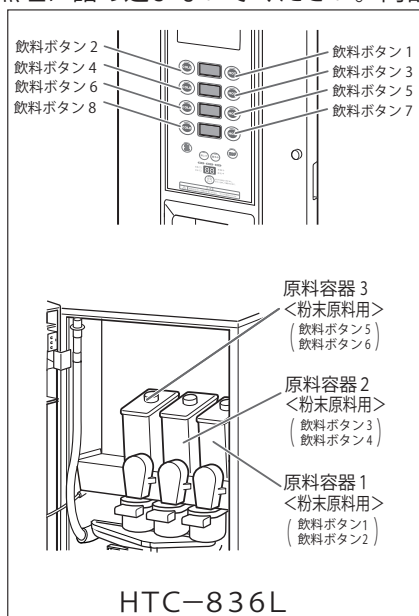
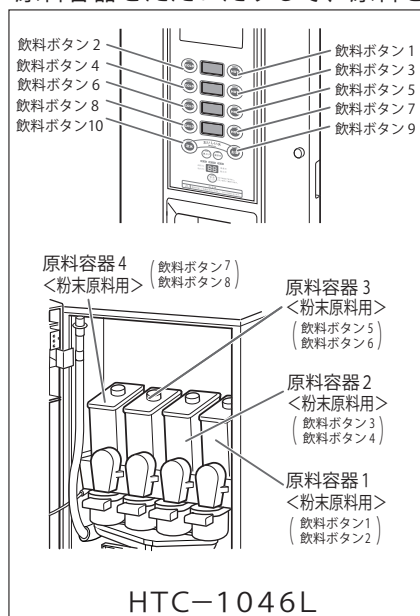
1 原料容器と飲料ボタンを確認する

前面板の飲料ボタンと、原料容器の関係をまちがえないように、確認します。

2 原料容器に原料を入れる

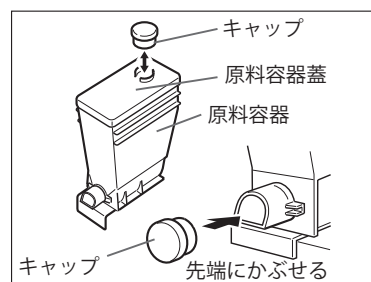
原料容器の蓋を開き、上から原料を静かに入れます。原料容器の容量は約800mlです。

原料容器をたたいたりして、原料を無理に詰め込まないでください。内部で固まり出なくなることがあります。



原料容器を着脱するときは

原料容器の先端から原料がこぼれないように、原料容器蓋についているキャップを取りはずし、原料容器の先端にかぶせ、静かに取り扱ってください。



コントローラーの使いかた

(つづく)

コントローラーで設定できる機能

タイマー一時解除キー

このキーを押し「一時解除」に設定すると、次の休止中条件が一時解除され運転・抽出ができるようになります。

- ・湯水が設定温度に達していない
- ・「週間予約」「休日予約」「学習省エネ運転」「エコモード運転」「抽出時間帯」で休止中 (39ページ参照)

10キー／ダイレクトキー

キーに表示された操作をおこなう他、数字入力キーとしても使用できます。

リンスキー

ミキシングボールの洗浄動作をおこないます。

動作時の湯・水量、定期的にリンスをおこなう設定は「自動リンス」でおこなってください。

(31～32ページ参照)

かんたん初期設定キー

初めてご使用の際に必要なとなる以下の基本的な設定をおこないます。

- ・操作音
- ・抽出音
- ・給水方式
- ・カップサイズ
- ・原料種類
- ・浄水器交換案内
- ・冷却水交換案内

(21ページ参照)

省エネキー

キーを押すごとに「学習省エネ運転」「エコモード運転」「通常運転」を切替えます。

(各運転モードについては40ページ参照)

安全ロックキー

キーを押すごとに安全ロック動作の「する」「しない」を切替えます。

(安全ロックについては7ページ参照)

選択キー

キーを押すと項目を選択します。

決定キー

入力操作した内容が決定されます。

表示部

待機画面では、現在時刻・トータル抽出回数・湯タンク、冷水機の運転状態・現在の温度および設定温度等を表示します。

飲料が抽出できない状態では「休止モニター」、故障の場合は「故障モニター」を自動表示します。

断水解除キー

「湯断水」「水断水」を解除します。

湯・水・原料キー

キーを押すと22ページの機能を順次表示します。

カウンターキー

使用期間→トータル→ボタン別→有料(※)の累計抽出回数を順次表示します。

(※) 別売のコイン管理装置を使用し、設定がされたときに表示されます。

(25ページ参照)

10キーとしてのみ使用できます。

「茶の葉交換」「ブルワースervice」「コーヒーリセット」「廃棄リセット」は、この機種は対応していません。

タイマーキー

キーを押すと22ページの機能を順次表示します。

休止故障キー

「休止」「故障」履歴の確認をおこないます。

(25ページ参照)

機能キー

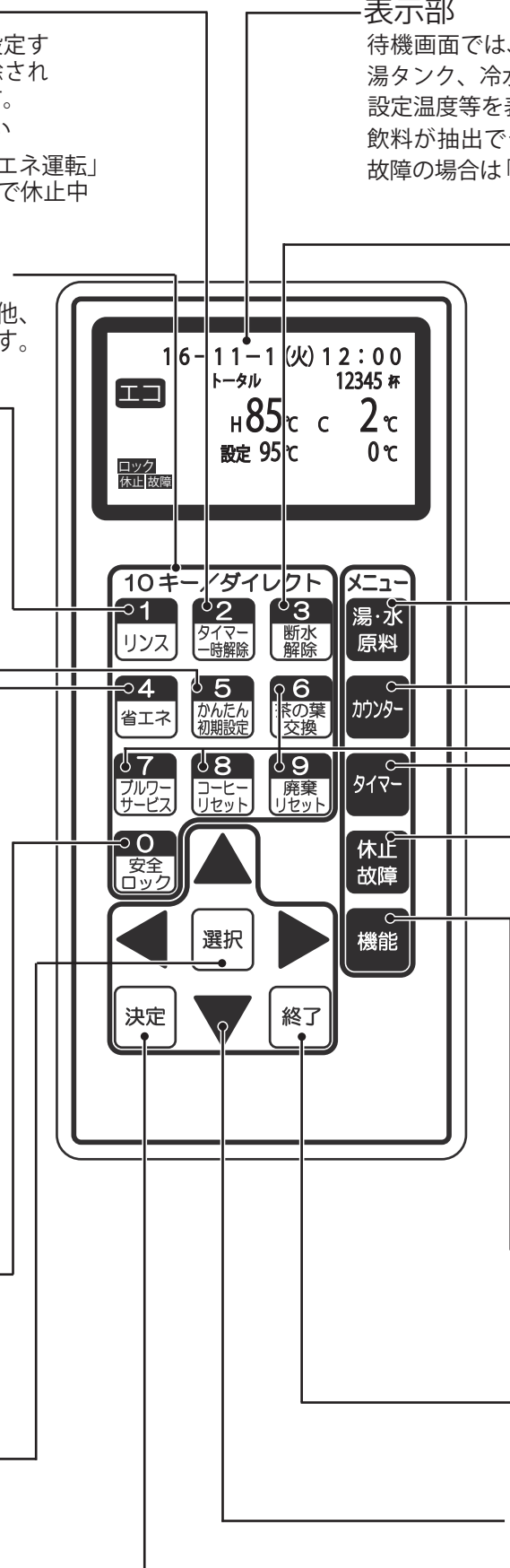
キーを押すと23ページの機能を順次表示します。

終了キー

待機画面に戻ります。

カーソルキー

設定する項目・内容・数値を選択するのに使います。



コントローラーの使いかた (つづき)

かんたん初期設定

初めてご使用の際に必要な基本的な設定をまとめた「かんたん初期設定」があります。

「かんたん初期設定」では下記の設定をおこなうことができます。必要に応じて各項目の設定をおこなってください。

＜設定一覧＞

かんたん初期設定メニュー		工場出荷値	設定可能値	設定のきざみ
操作音		する	する・しない	
抽出音		する	する・しない	
給水方式		下部タンク	下部タンク・水道直結	
カップサイズ		M 120ml	S 100ml・M 120ml・L 140ml	
原料種類		各機種の商品ラベルに表示してある飲料に合わせた原料に設定されています。	上煎茶、煎茶、さわやか煎茶、ほうじ茶、ウーロン茶、玄米茶、麦茶、フレッシュウォーター、インスタントコーヒー、ストレートティー、レモンティー、溶け難い原料、その他	
浄水器交換案内	案内動作	しない	警告表示・抽出停止・しない	
	使用期限	—	設定日～9 9 1 2 3 1	1 日
冷却水交換案内	案内動作	しない	警告表示・抽出停止・しない	
	使用期限	—	設定日～9 9 1 2 3 1	1 日

＜設定方法＞

[例] 給水方式を水道直結にする。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		＊初期設定（基本） 操作音 ：する 抽出音 ：する ▶給水方式 ：下部タンク カップサイズ：S 100ml	「かんたん初期設定」キーを押した後、   キーを押して、変更したい項目に▶をあわせます。
2	 	＊初期設定（基本） 操作音 ：する 抽出音 ：する ▶給水方式 ：下部タンク カップサイズ：S 100ml	 キーを押すと「下部タンク」が点滅します。
3	 	＊初期設定（基本） 操作音 ：する 抽出音 ：する ▶給水方式 ：水道直結 カップサイズ：S 100ml	点滅している項目を   キーで変更します。 (項目によっては、10キーで数字を直接入力することができます。)
4		＊初期設定（基本） 操作音 ：する 抽出音 ：する ▶給水方式 ：水道直結 カップサイズ：S 100ml	「決定」キーを押し、設定を確定します。
5		待機画面に戻ります。	上記と同様の手順で、変更したい項目の設定をおこなってください。 「終了」キーを押すと設定完了です。

メニューキーの機能一覧

湯・水
原料

キー

飲料の量、温度、原料に関する設定ができます

機 能	内 容	掲載ページ
原 料 種 類 設 定	各飲料ボタンの「原料種類」と「基準値※」を設定できます。 ※ 基準値は、原料の設定値と実際に出る量との違いを補正する機能です。 基準値を設定することにより、「湯水原料量／温度／追加」の機能で設定した原料の量を正しく出すことができますようになります。	34～35
湯水原料量／温度／追加	各飲料ボタンの湯または水の抽出する量、温度、原料の量、また量多めボタンを押したときの飲料量を増やす割合を設定できます。 HTC-836L、HTC-626Lでは、濃いめボタンを押したときの原料量を増やす割合を設定できます。	36
一括カップサイズ設定	全ての飲料ボタンの湯または水の抽出する量を一括で設定できます。 (「お湯」、「冷水」ボタンは除く)	36

カウンタ

キー

累計の抽出回数を確認できます

機 能	内 容	掲載ページ
—	製品全体での抽出回数や、各飲料ボタンごとの抽出回数を確認できます。	25

タイマー

キー

各種タイマー機能を設定できます

機 能	内 容	掲載ページ
浄水器交換案内	除菌浄水器（水フィルター）の交換時期を設定し、交換時期に達したときに警告または停止させるかどうかの選択をおこなうことができます。 この機能は別売の除菌浄水器付の置台または除菌浄水器（水フィルター）が必要です。	27
冷却水交換案内	冷却用タンクの水の交換時期を設定し、交換時期に達したときに警告または停止させるかどうかの選択をおこなうことができます。	28
週 間 予 約	曜日ごとに運転時間を設定できます。 休日や夜間などの運転を自動的に停止させることができます。	29
休 日 予 約	連続して停止させたい期間の年月日を最大9回まで設定できます。 連休などの運転を自動的に終日停止させることができます。	30
自 動 リ ンス	曜日ごとに1日最大4回、設定時刻に抽出口や配管などを自動的にリンス（洗浄）することができます。また、リンスするときの湯・水の量、除菌浄水器（水フィルター）内部の水の入れ替え※も設定できます。 ※別売の除菌浄水器付の置台または除菌浄水器（水フィルター）が必要です。	31～32
沸 騰 制 御	1日に最大3回、設定時刻になると自動的に湯を沸騰させることができます。	33
現 在 時 刻	現在の年月日、時刻の調整に使用します。曜日は年月日に合わせて自動修正されます。	26

コントローラーの使いかた (つづき)

休止
故障

キー

休止や故障の履歴を確認できます

機 能	内 容	掲載ページ
休 止 履 歴	休止があった場合、最新の休止 20 項目が表示されます。	25
故 障 履 歴	故障があった場合、最新の故障 20 項目が表示されます。修理依頼時に表示内容をご連絡ください。	

機能

キー

より便利に使用するための機能を設定できます

機 能	内 容	掲載ページ
給 水 方 式	この機能は置台 (CT-33LW) のポンプ、および排水容器キット (OKT-11L) と漏水検知装置 (RKT-25) に使用している外部電磁弁の動作のパターンと、その最大動作時間を切り替えるものです。動作のパターンは、「下部タンク」と「水道直結」が設定できます。 「下部タンク」は給水要求(フロートスイッチが下がる)の都度、ポンプの運転、外部電磁弁の開動作をおこない、「水道直結」は漏水を検知したとき以外は常に開動作しているように設定するものです。置台 (CT-33LW) を使用している場合は、必ず「下部タンク」に設定してください。(工場出荷時は「下部タンク」に設定しています。) 最大動作時間は、水道の断水や、置台の水タンクが空であることを検知するために設定します。一度の給水で、設定された連続時間を超えると「休止モニター」に表示して、給水動作を停止させます。 「下部タンク」に設定した場合は 5 分間、「水道」に設定した場合は 5 ～ 10 分間の設定が可能です。	37
動 作 音	各種動作音の有無を設定できます。 (コントローラーの操作音／抽出時の動作音／リンス時の動作音／沸騰制御の動作音)	37
湯 温	湯温 (お湯の沸き上げ温度) の設定ができます。	38
交 互 抽 出	原料容器の交互抽出の設定ができます。 交互抽出を設定すると、同一の原料を入れた 2 ヶ所の原料容器から、抽出ボタンにかかわらず交互に抽出され、2 ヶ所の原料を均等に消費していく機能で、1 種類の原料が多く使用される場合に便利です。 原料 1 ⇄ 2 の交互抽出と、原料 3 ⇄ 4 の交互抽出が設定できます。	39
バージョンチェック	マイコンのバージョン情報を表示します。修理依頼時に表示内容をご連絡ください。	—

数値設定する機能の設定可能値

機 能			設 定 可 能 値	設定のきざみ
湯 ・ 水 ・ 原 料	原料種類設定	基準値	0.1～8.0 g	0.1 g
	湯水原料量／温度／追加	湯・水(注1)	50～200 ml・連続	1 ml
		温度 (注2)	COLD湯添加・COLD・3～85℃・HOT(注3)	1℃
		原料量(注4)	0.1～8.0 g	0.1 g
		濃いめ(注5)	0～50%	10%
		量多め(注6)	0～50%	10%
	一括カップサイズ設定		S 100ml・M 120ml・L 140ml	
湯 温		80～98℃	1℃	
動 作 音	操作音		する・しない	
	抽出音		する・しない	
	リンス動作音		する・しない	
	沸騰動作音		する・しない	
浄水器交換案内	案内動作		警告表示・抽出停止・しない	
	使用期限		設定日～991231	1日
冷却水交換案内	案内動作		警告表示・抽出停止・しない	
	使用期限		設定日～991231	1日
週 間 予 約	予約動作		する・しない	
	曜 日		月～日・一括(月～金)	
	時 刻 (注7)	開始時刻	00:00～23:59・連続	1分
		終了時刻	00:00～23:59・連続停止	1分
	冷水機運転		する・しない	
休 日 予 約	予約動作		する・しない	
	年月日	開始日	000101～991231	1日
		終了日	000101～991231	1日
	冷水機運転		する・しない	
自 動 リ ン ス	リンス動作		する・しない・週間予約同期	
	曜 日		月～日・毎日	
	時 刻 (注8)		00:00～23:59・しない	1分
	湯 量		10～150 ml	1 ml
	水 量		10～100 ml	1 ml
	除菌浄水器(水フィルター)		0～5000 ml	100 ml
沸 騰 制 御	沸騰動作		する・しない	
	時 刻 (注8)		00:00～23:59・しない	1分
交 互 抽 出			原料1⇔2・原料3⇔4	
給 水 方 式			下部タンク・水道直結	

●湯・水・原料の量は目安であり、実際の量とは多少異なる場合があります。

●工場出荷時は、標準的な使いかたの値が設定されています。詳しくは各機能の設定画面を表示してご確認ください。

(注1) HTC-1046Lの飲料ボタン9、HTC-836Lの飲料ボタン7、HTC-626Lの飲料ボタン5はお湯用の飲料ボタン、HTC-1046Lの飲料ボタン10、HTC-836Lの飲料ボタン8、HTC-626Lの飲料ボタン6は冷水用の飲料ボタンです。工場出荷時は、飲料ボタンを押している間だけ飲料を抽出する「連続」設定ですが、湯・水の量を数値に選択しますと、その設定した量の飲料が定量抽出されます。このとき、ほかの飲料ボタンとは異なり、飲料ボタンを押している間だけ飲料を抽出することもできます。

(注2) 湯・水の量を「連続」に設定したとき、温度は「COLD」、「HOT」のみの設定となります。

(注3) 温度を「COLD湯添加」に設定すると、冷水に湯を少量混ぜて抽出し、COLD飲料抽出時に原料を溶けやすくします。「COLD」は冷水のみとなります。

(注4) HTC-1046Lの飲料ボタン9、10、HTC-836Lの飲料ボタン7、8、HTC-626Lの飲料ボタン5、6は原料の量を設定することはできません。

(注5) 濃さの追加ボタンを押してから飲料ボタンを押すと、設定した量の原料が追加抽出されます。(HTC-836L、HTC-626Lのみ)
例：原料1.0 gで濃さの追加20%のときは、0.2 g追加抽出されます。

(注6) 量の追加ボタンを押してから飲料ボタンを押すと、設定した飲料量が追加抽出されます。
例：湯量100 mlで量の追加20%のときは、20 ml追加抽出されます。(原料量の追加を含む)
飲料量の設定可能範囲を超える追加量の設定はできません。

(注7) 開始時刻を「連続」に設定すると終日運転に、終了時刻を「連続停止」に設定すると終日停止になります。

(注8) 時刻を「しない」に設定すると動作しません。

コントローラーの使いかた (つづき)

休止や故障の履歴を見る

[例] 故障履歴を見る。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		* 休止・故障メニュー 休止履歴 ▶ 故障履歴	「休止・故障」キーを押した後、   キーを押して「故障履歴」に▶をあわせませす。
2	   	* 故障履歴 1.17-07-07 19:07 湯センサー開放	「選択」キーまたは  キーを押すと故障履歴が表示されます。   キーを繰り返し押すと、最新の内容20項目が新しいものから順次表示されます。 画面内容は上段の左から履歴番号、故障の年月日、同時刻、下段に故障内容の表示となっています。
		* 故障履歴 4.16-12-24 21:30 電池異常	
3		待機画面に戻ります。	確認終了です。

- 休止履歴を見る場合は順序1で「休止履歴」を表示してください。
- 休止内容は下記項目を表示します。
 - ・湯タンク低水位
 - ・湯温低い
 - ・水温高い
 - ・週間予約休止中
 - ・休日予約休止中
 - ・抽出時間帯休止中
 - ・湯タンク排水中
 - ・冷却準備中
 - ・浄水器交換時期
 - ・電源遮断
 - ・電源復帰
 - ・湯断水
 - ・水断水
 - ・冷却水なし
 - ・冷却水交換時期
 - ・排液タンク満水
 - ・省エネ運転中
 - ・学習省エネ運転中
- 故障内容は下記項目を表示します。
 - ・時計異常
 - ・メモリ異常
 - ・電池異常
 - ・加温ユニット異常
 - ・湯センサー開放
 - ・湯センサー短絡
 - ・水センサー開放
 - ・水センサー短絡
 - ・漏水を検知
 - ・IBCセンサー異常
 - ・冷水機異常
 - ・コイン信号異常
 - ・ディストリビューター異常
 - ・基板間通信異常
- 表示される内容は置台の種類によって異なります。

累計の抽出回数を見る

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		* カウンター 使用期間 16-11-01~17-09-15 トータル 12345杯	「カウンター」キーを押すと、左記画面が表示され、全ての抽出ボタンの合計抽出回数を確認できます。
2	   	* カウンター ボタン1 1987杯 ボタン2 1765杯 ボタン3 543杯 ボタン4 321杯	  キーを繰り返し押すと、トータル→ボタン1~4→ボタン5~8→ボタン9~10と抽出回数が順次表示されます。
3		待機画面に戻ります。	確認終了です。

- 別売のコイン管理装置を使用し設定がされたときに、手順2で「有料」が表示されます。
- 機種によって抽出ボタンの数が異なります。

現在時刻を合わせる

[例] 16-11-1 12:00に合わせる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*タイマーメニュー 自動リンス 沸騰制御 ▶現在時刻	「タイマー」キーを押した後、   キーを押して「現在時刻」に▶をあわせます。
2		16-10-1 (土) 1:01	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示され「年」が点滅します。
3	   	16-11-1 (火) 12:00	  キーで点滅位置を移動し、10キーで数字を直接入力するか、   キーで各項目を変更します。 (曜日は自動修正されます。)
4		16-11-1 (火) 12:00	「決定」キーを押し、設定を確定します。
5		待機画面に戻ります。	設定完了です。

コントローラーの使いかた (つづき)

浄水器の交換時期を設定する

この機能を使用するには、別売の除菌浄水器（水フィルター）または除菌浄水器付の置台が必要です。

[例] 浄水器交換時期を2017年12月1日とし、交換時期に達したら、休止モニターに表示し運転を停止させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*タイマーメニュー ▶浄水器交換案内 冷却水交換案内 週間予約 休日予約	「タイマー」キーを押し、左記画面を表示させます。 「浄水器交換案内」に▶があることを確認します。
2		*浄水器交換案内 ▶案内動作：しない 使用期限：161101 (開始日：161101)	「選択」キーまたは▶キーを押すと左記画面が表示されます。
3		*浄水器交換案内 ▶案内動作：しない 使用期限：161101 (開始日：161101)	▶キーを押すと「しない」が点滅します。
4		*浄水器交換案内 ▶案内動作：抽出停止 使用期限：161101 (開始日：161101)	▲▼キーで「抽出停止」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
5		*浄水器交換案内 案内動作：抽出停止 ▶使用期限：161101 (開始日：161101)	▲▼キーを押して「使用期限」に▶をあわせ、 ▶キーを押すと、「年」が点滅します。
6		*浄水器交換案内 案内動作：抽出停止 ▶使用期限：171201 (開始日：161101)	◀▶キーで点滅位置を移動し、10キーで数字を直接 入力するか、▲▼キーで各項目を変更します。
7		*浄水器交換案内 案内動作：抽出停止 ▶使用期限：171201 (開始日：161224)	「決定」キーを押し、設定を確定します。 (「開始日」が設定した日に自動的に切り替わります)
8		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 設定をおこなった日が「開始日」になります。浄水器を交換した日に上記設定をおこなってください。
- 順序4で「抽出停止」を「警告表示」に設定すると、交換時期に達したとき休止モニターに表示されますが、運転は停止しません。
「しない」に設定すると、この機能は動作しません。

冷却用タンクの水の交換時期を設定する

[例] 冷却用タンクの水の交換時期を2017年12月1日とし、交換時期に達したら、休止モニターに警告を表示させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		* タイマーメニュー 浄水器交換案内 ▶ 冷却水交換案内 週間予約 休日予約	「タイマー」キーを押した後、   キーを押して「冷却水交換案内」に▶をあわせませす。
2		* 冷却水交換案内 ▶ 案内動作：しない 使用期限：161101 (開始日：161101)	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示されます。
3	   	* 冷却水交換案内 ▶ 案内動作：しない 使用期限：161101 (開始日：161101)	 キーを押すと「しない」が点滅します。
4		* 冷却水交換案内 ▶ 案内動作：警告表示 使用期限：161101 (開始日：161101)	  キーで「警告表示」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
5	   	* 冷却水交換案内 案内動作：警告表示 ▶ 使用期限：161101 (開始日：161101)	  キーを押して「使用期限」に▶をあわせ、  キーを押すと、「年」が点滅します。
6	   	* 冷却水交換案内 案内動作：警告表示 ▶ 使用期限：171201 (開始日：161101)	  キーで点滅位置を移動し、10キーで数字を直接入力するか、   キーで各項目を変更します。
7		* 冷却水交換案内 案内動作：警告表示 ▶ 使用期限：171201 (開始日：161224)	「決定」キーを押し、設定を確定します。 (「開始日」が設定した日に自動的に切り替わります)
8		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 設定をおこなった日が「開始日」になります。冷却水を交換した日に上記設定をおこなってください。
- 順序4で「警告表示」を「抽出停止」に設定すると、交換時期に達したとき休止モニターに表示され、運転も停止します。
「しない」に設定すると、この機能は動作しません。

コントローラーの使いかた (つづき)

週間予約を設定する

曜日ごとに運転時間を設定できます。休日や夜間などの運転を自動的に停止させることができます。

[例] 土曜日と日曜日を終日停止、その他の日は8:00から20:00の間運転とし、冷水機の運転は継続する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*タイマーメニュー 浄水器交換案内 冷却水交換案内 ▶週間予約 休日予約	「タイマー」キーを押した後、   キーを押して「週間予約」に▶をあわせませす。
2		*週間予約 ▶予約：しない 冷水機運転：する	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示されます。
3	   	*週間予約 ▶予約：しない 冷水機運転：する	 キーを押すと「しない」が点滅します。
4		*週間予約 ▶予約：する 冷水機運転：する	  キーで「する」に変更し、「決定」キーを押し、設定を確定します。
5	   	*予約 開始 終了 ▶月-金 連続 ー**:* 月 連続 ー**:* 火 連続 ー**:* 水 連続 ー**:*	  キーを押して左記画面を表示させ、「月-金」に▶をあわせて  キーを押し、「連続」を点滅させます。
6	   	*予約 開始 終了 ▶月-金 08:00-20:00 月 連続 ー**:* 火 連続 ー**:* 水 連続 ー**:*	  キーで点滅位置を移動し、10キーで数字を直接入力するか、   キーで各項目を変更します。
7		*予約 開始 終了 ▶月-金 08:00-20:00 月 08:00-20:00 火 08:00-20:00 水 08:00-20:00	「決定」キーを押し、設定を確定します。 (「月-金」の開始、終了時刻を設定すると、月～金の時刻は自動修正されます。)
8	   	*予約 開始 終了 木 08:00-20:00 金 08:00-20:00 ▶土 連続 ー**:* 日 連続 ー**:*	  キーを押して「土」に▶をあわせて  キーを2回押し、「**」を点滅させます。
9		*予約 開始 終了 木 08:00-20:00 金 08:00-20:00 ▶土 **:* 連続停止 日 連続 ー**:*	  キーで「連続停止」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。 (「終了」を「連続停止」に設定すると、「開始」は「**:*」に自動修正されます。)
10		*予約 開始 終了 木 08:00-20:00 金 08:00-20:00 土 **:* 連続停止 ▶日 **:* 連続停止	 キーを押して「日」に▶をあわせて、手順8～9と同様に時刻を設定し、「決定」キーを押し、設定を確定します。
11		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●冷水機運転を「しない」に設定すると、週間予約による運転停止中、冷水機も運転停止します。

●開始時刻を「連続」に設定すると終日運転に、終了時刻を「連続停止」に設定すると終日停止になります。

休日予約を設定する

連続して停止させたい期間を設定できます。連休などの運転を自動的に終日停止させることができます。

【例】2016年12月28日から2017年1月4日まで運転を休止し、冷水機の運転も休止する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*タイマーメニュー 浄水器交換案内 冷却水交換案内 週間予約 ▶休日予約	「タイマー」キーを押した後、  キーを押して「休日予約」に▶をあわせませす。
2		*休日予約 ▶予約：しない 冷水機運転：する	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示されます。
3		*休日予約 ▶予約：しない 冷水機運転：する	 キーを押すと「しない」が点滅します。
4		*休日予約 ▶予約：する 冷水機運転：する	 キーで「する」に変更し、「決定」キーを押し、設定を確定します。
5		*休日予約 予約：しない ▶冷水機運転：する	 キーを押して「冷水機運転」に▶をあわせませす。
6		*休日予約 予約：しない ▶冷水機運転：しない	 キーを押すと「する」が点滅するので、  キーで「しない」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
7		*予約 開始 終了 ▶1回目 161001 - 161001 2回目 161001 - 161001 3回目 161001 - 161001 4回目 161001 - 161001	 キーを押して左記画面を表示させ、「1回目」に▶をあわせて  キーを押し、「年」を点滅させませす。
8		*予約 開始 終了 ▶1回目 161228 - 170104 2回目 161001 - 161001 3回目 161001 - 161001 4回目 161001 - 161001	 キーで点滅位置を移動し、10キーで数字を直接入力するか、  キーで各項目を変更します。
9		*予約 開始 終了 ▶1回目 161228 - 170104 2回目 161001 - 161001 3回目 161001 - 161001 4回目 161001 - 161001	「決定」キーを押し、設定を確定します。
10		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 最大9回まで設定できます。
- 冷水機運転を「する」に設定すると、休日予約による運転停止中でも冷水機は運転します。
- 2日以上ご使用にならなかったときは、雑菌繁殖の恐れがあります。
湯タンクや別売置台の水タンクの水は、新しい水道水に入れ替えてください。
また、各飲料ボタンを5～6回押し、抽出動作をおこない、配管内の残水を排水してください。

コントローラーの使いかた (つづき)

リンスをする

すぐにリンスをする場合

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*リンス中*	キーを押すとリンスを実行し、左記画面が交互に表示されます。 リンスが終了すると待機画面に戻ります。
		熱湯が出ますので 注意してください	

- リンス中は飲料抽出口から湯が出ますので、やけどに注意してください。
- リンス時の湯量・水量は「自動リンス」の湯量・水量設定にて調節できます。

定期的リンス(自動リンス)をする場合

[例] 毎日11:30と22:00に、ミキシング部は湯量150ml、水量40ml、湯・水用ノズルは湯量30ml、水量20mlでリンスをおこない、除菌浄水器（水フィルター）内部の水の入れ替え量を3000mlに設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*タイマーメニュー ▶自動リンス 沸騰制御 現在時刻	「タイマー」キーを押した後、   キーを押して「自動リンス」に▶をあわせませす。
2		*自動リンス ▶リンス：しない 湯量：130ml／ 10ml 湯 水量： 20ml／ 10ml 水 浄水器： 0ml	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示されます。
3		*自動リンス ▶リンス：しない 湯量：130ml／ 10ml 湯 水量： 20ml／ 10ml 水 浄水器： 0ml	 キーを押すと「しない」が点滅します。
4		*自動リンス ▶リンス：する 湯量：130ml／ 10ml 湯 水量： 20ml／ 10ml 水 浄水器： 0ml	  キーで「する」に変更し、「決定」キーを押し、設定を確定します。
5		*自動リンス リンス：する ▶湯量：130ml／ 10ml 湯 水量： 20ml／ 10ml 水 浄水器： 0ml	  キーを押して「湯量」に▶をあわせて  キーを押し、「130」を点滅させます。
6		*自動リンス リンス：する ▶湯量：150ml／ 30ml 湯 水量： 20ml／ 10ml 水 浄水器： 0ml	  キーで点滅位置を移動し、10キーで数字を直接入力するか、   キーで各項目を変更します。

定期的にリンス(自動リンス)をする場合

順序	キー操作	表示部表示	内 容
7		*自動リンス リンス：する ▶湯量：150ml／ 30ml 湯 水量： 20ml／ 10ml 水 浄水器： 0ml	「決定」キーを押し、設定を確定します。
8		*自動リンス リンス：しない 湯量：150ml／ 30ml 湯 水量： 40ml／ 20ml 水 ▶浄水器： 3000ml	手順5～7と同様に、「水量」、「水」、「浄水器」を設定し、「決定」キーを押し、設定を確定します。
9		*リンス時間（毎日） 1回目：7：00 2回目：しない 3回目：しない 4回目：しない	 キーを押すと左記画面が表示され、「毎日」が点滅します。 (ここで  キーを押すと、曜日を変更できます。)
10		*リンス時間（毎日） ▶1回目：7：00 2回目：しない 3回目：しない 4回目：しない	 キーを押して「1回目」に▶をあわせて、さらに  キーを押し、「時」を点滅させます。
11		*リンス時間（毎日） ▶1回目：11：30 2回目：しない 3回目：しない 4回目：しない	 キーで点滅位置を移動し、10キーで数字を直接入力するか、  キーで各項目を変更します。
12		*リンス時間（毎日） ▶1回目：11：30 2回目：しない 3回目：しない 4回目：しない	「決定」キーを押し、設定を確定します。
13		*リンス時間（毎日） 1回目：11：30 ▶2回目：22：00 3回目：しない 4回目：しない	 キーを押して「2回目」に▶をあわせて、 手順10～12と同様に時刻を設定し、「決定」キーを押し、設定を確定します。
14		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 順序4で「リンス」を「週間予約同期」に設定すると、「週間予約」(29ページ「週間予約を設定する」参照)の終了時刻にリンスをおこないます。
- 順序8で「浄水器」を設定すると、動作設定してある曜日に(水フィルター)内部の水の入れ替えをおこないます。
- リンス中の動作音は消すことができます。(37ページ「動作音を設定する」参照)

コントローラーの使いかた (つづき)

定期的に沸騰させる

[例] 毎日11:30に沸騰させる。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*タイマーメニュー 自動リンス ▶沸騰制御 現在時刻	「タイマー」キーを押した後、   キーを押して「沸騰制御」に▶をあわせます。
2		*沸騰制御 ▶沸騰：しない 1回目：しない 2回目：しない 3回目：しない	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示されます。
3		*沸騰制御 ▶沸騰：しない 1回目：しない 2回目：しない 3回目：しない	 キーを押すと「しない」が点滅します。
4		*沸騰制御 ▶沸騰：する 1回目：しない 2回目：しない 3回目：しない	  キーで「する」に変更し、「決定」キーを押し、設定を確定します。
5		*沸騰制御 沸騰：する ▶1回目：しない 2回目：しない 3回目：しない	  キーを押して「1回目」に▶をあわせて、  キーを押し、「しない」を点滅させます。
6		*沸騰制御 沸騰：する ▶1回目：11:30 2回目：しない 3回目：しない	  キーで点滅位置を移動し、10キーで数字を直接入力するか、   キーで各項目を変更します。
7		*沸騰制御 沸騰：する ▶1回目：11:30 2回目：しない 3回目：しない	「決定」キーを押し、設定を確定します。
8		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 1日に最大3回まで設定できます。
- 沸騰動作中は前面板の沸上げボタンのボタンランプが点滅します。
- 沸騰動作中に前面板の沸上げボタンを押すと、ボタンランプが消灯しキャンセルします。
- 沸騰中の動作音は消すことができます。（37ページ「動作音を設定する」参照）

原料の種類を設定する

[例] 原料容器No.2を玄米茶に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*湯・水・原料メニュー ▶原料種類設定 湯水原料量／温度／追加 一括カップサイズ設定	「湯・水・原料」キーを押し、左記画面を表示させます。 「原料種類設定」に▶があることを確認します。
2		*No. 種類 基準値 1：煎茶 0.7g ▶2：ほうじ茶 0.6g 3：インスタントコーヒー 0.7g 4：フレッシュウォーター 1.4g	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示されます。  ▼キーを押してNo.「2」に▶をあわせ、  キーを押すと、「ほうじ茶」が点滅します。
3		*No. 種類 基準値 1：煎茶 0.7g ▶2：玄米茶 0.7g 3：インスタントコーヒー 0.7g 4：フレッシュウォーター 1.4g	点滅している項目を  ▼キーで「玄米茶」に変更します。 (原料種類を変更すると、基準値も自動的に変更されます。)
4		*No. 種類 基準値 1：煎茶 0.7g ▶2：玄米茶 0.7g 3：インスタントコーヒー 0.7g 4：フレッシュウォーター 1.4g	「決定」キーを押し、設定を確定します。
5		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●機種によって原料容器の数が異なります。

コントローラーの使いかた (つづき)

基準値を設定する

この機能は「湯水原料量／温度／追加」(36ページ参照)で設定する「原料量」が、実際の量と異なる場合に補正をする機能です。設定するには、はかりが必要です。

[例] 原料容器No.2の基準値を設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*湯・水・原料メニュー ▶原料種類設定 湯水原料量／温度／追加 一括カップサイズ設定	「湯・水・原料」キーを押し、左記画面を表示させます。 「原料種類設定」に▶があることを確認します。
2		*No. 種類 基準値 ▶1:煎茶 0.7g 2:ほうじ茶 0.6g 3:インスタントコーヒー 0.7g 4:フレッシュウォーター 1.4g	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示されます。
3		*No. 種類 基準値 1:煎茶 0.7g ▶2:ほうじ茶 0.6g 3:インスタントコーヒー 0.7g 4:フレッシュウォーター 1.4g	  キーを押して、基準値を設定したい原料容器No.に▶をあわせ、  キーを2回押すと基準値が点減します。
4		*No. 種類 基準値 1:煎茶 0.7g ▶2:ほうじ茶 0.6g 3:インスタントコーヒー 0.7g 4:フレッシュウォーター 1.4g	基準値の数値を点減させた状態で「選択」キーを押すと、基準値を設定する原料容器から原料が出てきますので、それを容器で受けて計量します。
5		*No. 種類 基準値 1:煎茶 0.7g ▶2:ほうじ茶 1.5g 3:インスタントコーヒー 0.7g 4:フレッシュウォーター 1.4g	数回測定して出した平均値を10キーで直接入力するか、   キーで数値を変更します。 ここでは仮に1.5gとします。
6		*No. 種類 基準値 1:煎茶 0.7g ▶2:ほうじ茶 1.5g 3:インスタントコーヒー 0.7g 4:フレッシュウォーター 1.4g	「決定」キーを押し、設定を確定します。
7		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- コントローラーを交換したときや、RAMクリアをおこなったときは、基準値設定をしてください。
- 機種によって原料容器の数が異なります。

各飲料ボタンの抽出条件(湯水原料量／温度／追加)を設定する

〔例〕 ボタン3の原料量を1.5gに設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*湯・水・原料メニュー 原料種類設定 ▶湯水原料量／温度／追加 一括カップサイズ設定	「湯・水・原料」キーを押した後、 キーを押して「湯水原料量／温度／追加」に▶をあわせ ます。
2		*ボタン 1 湯+水量 120ml 温度 80℃ 原料量 1.3g 量多め 20%	「選択」キーまたはキーを押すと左記画面が表示 され、ボタン番号「1」が点滅します。
3	 	*ボタン 3 湯+水量 120ml 温度 80℃ ▶原料量 1.3g 量多め 20%	キーでボタン番号「3」を選び キーを 押すと、項目の左側に▶が表示されます。 キーで「原料量」に▶をあわせ キーを 押すと、「1.3」が点滅します。
4	 	*ボタン 3 湯+水量 120ml 温度 80℃ ▶原料量 1.5g 量多め 20%	10キーで数字を直接入力するか、 キーで 「1.5」に変更します。
5		*ボタン 3 湯+水量 120ml 温度 80℃ ▶原料量 1.5g 量多め 20%	「決定」キーを押し、設定を確定します。
6		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- 上記と同様に「湯+水量(飲料量)」、「(飲料の)温度」、「量多めボタンを使用したときの飲料量の増加割合」も設定できます。
- HTC-836L、HTC-626Lは「濃いめボタンを使用したときの原料量の増加割合」も設定できます。
- 「一括カップサイズ設定」をおこなうと、全ての抽出ボタンの湯+水量、原料量を、カップに合わせた量に設定できます。

カップサイズを一括で設定する

〔例〕 「連続」を除く飲料の量をカップサイズL（140ml）に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*湯・水・原料メニュー 原料種類設定 湯水原料量／温度／追加 ▶一括カップサイズ設定	「湯・水・原料」キーを押した後、 キーを押して「一括カップサイズ設定」に▶をあわせ ます。
2		*一括カップサイズ設定 ▶カップサイズ：M 120ml	「選択」キーまたはキーを押すと左記画面が表示 されます。
3	 	*一括カップサイズ設定 ▶カップサイズ：M 120ml	キーを押すと、「M 120ml」が点滅します。
4		*一括カップサイズ設定 ▶カップサイズ：L 140ml	キーで「L 140ml」に変更し、「決定」キー を押して設定を確定します。
5		待機画面に戻ります。	設定完了です。

- カップサイズの設定は、S（100ml）、M（120ml）、L（140ml）があります。

コントローラーの使いかた (つづき)

給水方式を設定する

[例] 製品を水道直結で使用する場合。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*機能メニュー ▶給水方式 動作音 湯温 交互抽出	「機能」キーを押し、左記画面を表示させます。 「給水方式」に▶があることを確認します。
2		*給水方式 ▶給水方式：下部タンク	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示されます。
3		*給水方式 ▶給水方式：下部タンク	 キーを押すと、「下部タンク」が点滅します。
4		*給水方式 ▶給水方式：水道直結	  キーで「水道直結」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
5		待機画面に戻ります。	設定完了です。

動作音を設定する

[例] 沸騰中の動作音を消す。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*機能メニュー 給水方式 ▶動作音 湯温 交互抽出	「機能」キーを押した後、   キーを押して「動作音」に▶をあわせます。
2		*動作音 ▶操作音：する 抽出音：する リンス動作音：する 沸騰動作音：する	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示されます。
3		*動作音 操作音：する 抽出音：する リンス動作音：する ▶沸騰動作音：する	  キーを押して「沸騰動作音」に▶をあわせ、  キーを押すと、「する」が点滅します。
4		*動作音 操作音：する 抽出音：する リンス動作音：する ▶沸騰動作音：しない	  キーで「しない」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
5		待機画面に戻ります。	設定完了です。

●以下の各動作音の有無を設定できます。
コントローラーの操作音／抽出時のブザー音／リンス時のブザー音／沸騰制御のブザー音

湯温を設定する

[例] 湯温を90℃に設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		＊機能メニュー 給水方式 動作音 ▶湯温 交互抽出	「機能」キーを押した後、   キーを押して「湯温」に▶をあわせます。
2		＊湯音・適温 ▶湯温 : 95℃	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示されます。
3		＊湯音・適温 ▶湯温 : 95℃	「湯温」に▶があることを確認します。  キーを押すと、「95」が点滅します。
4		＊湯音・適温 ▶湯温 : 90℃	10キーで数字を直接入力するか、   キーで「90」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
5		待機画面に戻ります。	設定完了です。

コントローラーの使いかた (つづき)

交互抽出を設定する

交互抽出を設定すると、同一の原料を入れた2ヶ所の原料容器から、抽出ボタンにかかわらず交互に抽出され、2ヶ所の原料を均等に消費していきます。1種類の原料が多く使用される場合に便利な機能です。

[例] 原料容器3・4で交互抽出するように設定する。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*機能メニュー 給水方式 動作音 湯温 ▶交互抽出	「機能」キーを押した後、   キーを押して「交互抽出」に▶をあわせませす。
2		*交互抽出 ▶原料1⇄2 : しない 原料3⇄4 : しない	「選択」キーまたは  キーを押すと左記画面が表示されます。
3	   	*交互抽出 原料1⇄2 : しない ▶原料3⇄4 : しない	  キーを押して「原料3⇄4」に▶をあわせ、  キーを押すと、「しない」が点滅します。
4		*交互抽出 原料1⇄2 : しない ▶原料3⇄4 : する	  キーで「する」に変更し、「決定」キーを押して設定を確定します。
5		待機画面に戻ります。	設定完了です。

適温になっていないが抽出する

お湯や冷水の温度が適温に達してなく、飲料が抽出できないときに飲料を抽出したい場合には、次の操作をおこなってください。

順序	キー操作	表示部表示	内 容
1		*タイマー一時解除* 変更は [選択] 終りは [終了]	「タイマー一時解除」キーを押し、左記画面を表示させます。
2		タイマー運転 [選択] で選んで [決定] を押す	「選択」キー押すと左記画面が表示され、「タイマー運転」が点滅します。
3		タイマー一時解除 [選択] で選んで [決定] を押す	「選択」キー押すと、「タイマー一時解除」に変更します。
4		待機画面に戻ります。	「決定」キーを押し、設定を確定します。

- 通常の運転状態に戻すには、順序3で「通常運転」に設定してください。
- 「週間予約」「休日予約」の休止条件で休止中の場合も、同じ操作で休止を一時解除できます。
タイマー一時解除による一時解除は、「週間予約」「休日予約」で設定した終了時刻または終了日を過ぎると、自動的にキャンセルされます。
- 「学習省エネ運転」で運転中の場合も、同じ操作で学習省エネ運転を一時解除できます。

省エネ運転モードについて

<設定一覧>

省エネ運転モードは、以下の3種類を選択できます。（製品出荷時は「エコモード」に設定されています）

エコモード運転	過去4週間の使用状況を学習し、使用されなかった時間帯は湯タンクの沸き上げ温度を低めにし、電力消費をおさえますが、いつでも飲料が抽出できます。冷水機は常に運転します。
学習省エネ運転	過去4週間の使用状況を学習し、使用されなかった時間帯は湯タンクの沸き上げと、冷水機の運転を停止し、使用された時間帯も湯タンクの沸き上げ温度と冷水機の運転をおさえ、電力消費を積極的におさえます。 湯タンクの沸き上げを停止しても、タンク内のお湯が所定の温度以下になるまでは、HOT飲料が抽出できます。また、COLD飲料は冷水機の運転に関係なく、いつでも抽出できます。
通常運転	湯タンクの沸き上げと、冷水機の運転を常に設定通りおこない、いつでも飲料が抽出できます。

※「エコモード運転」、「学習省エネ運転」で湯タンク、冷水機の運転を規制している間は、飲料の温度がぬるくなる場合があります。

<設定方法>

省エネ運転モードは、コントローラーの「省エネ」キーで設定変更できます。（キーの位置は20ページ参照）

お手入れ

警告

部品の取り付け、取りはずしおよびお手入れするときは、電源スイッチを切る



指示

感電やけがの原因になります。

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない



ショートや感電の原因になります。

水かけ禁止

部品を取りはずし洗浄するとき

ぬるま湯（50℃以下）をご使用ください。高温のお湯を使用すると、変形したり故障の原因になります。

汚れが落ちにくいとき

薄めた中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジなどで擦り洗いし、きれいな水で洗剤を洗い流してください。

ミキシングボール・集合ロートを着脱するとき

ミキシングボール・集合ロートを着脱するときは、原料容器の蓋に取り付いているキャップを原料容器先端にかぶせ、静かに取り扱ってください。

原料容器を着脱するとき

原料を入れたままで、原料容器を着脱するときは、原料容器の蓋に取り付いているキャップを原料容器先端にかぶせ、静かに取り扱ってください。

お手入れが終わったら

部品をもとの位置に納め、電源スイッチを入れてご使用ください。

お手入れ時期の目安と手順

お手入れの時期と手順は下図の順番でおこないます。

順番が違うと取りはずせない部品もあります。取り付けるときは、逆の手順でおこなってください。

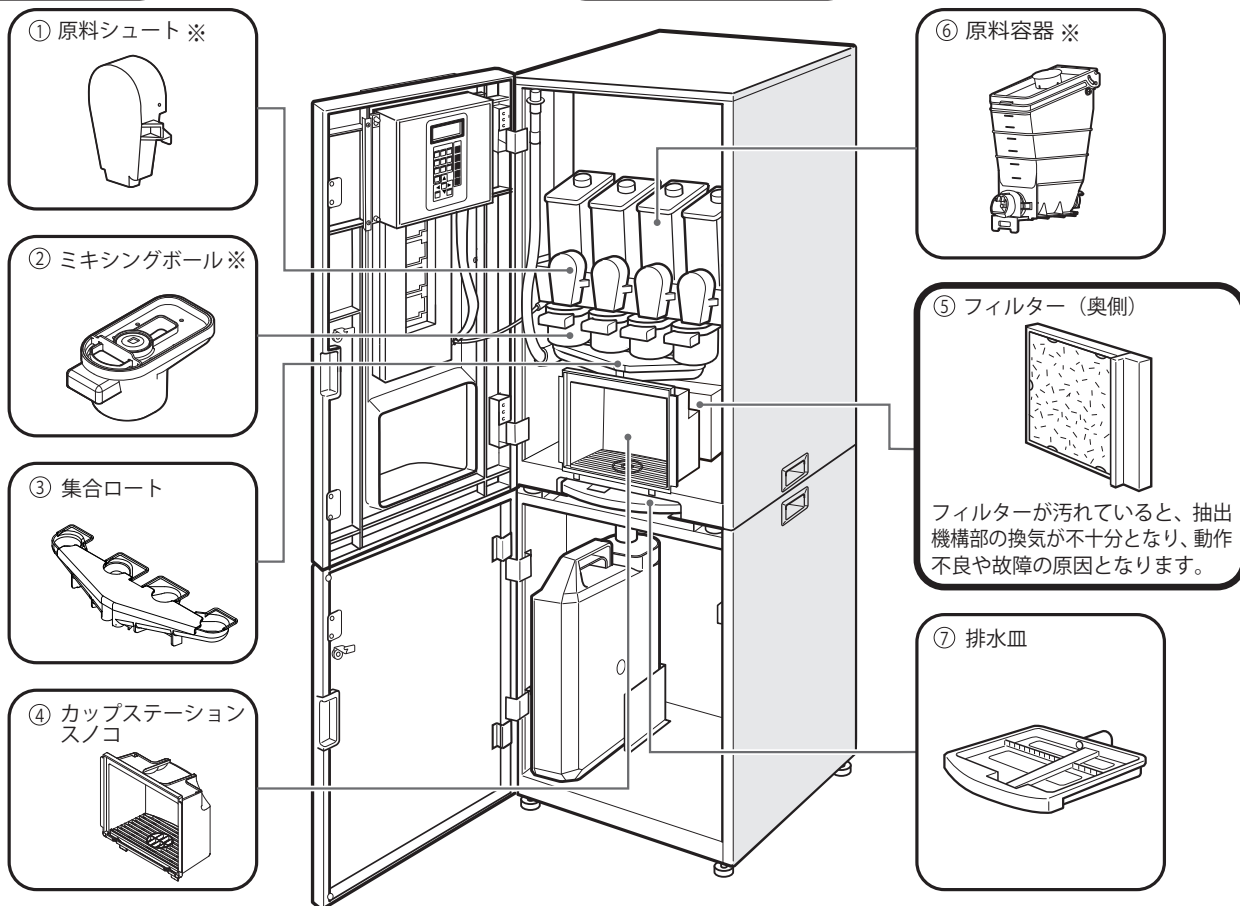
お手入れ時期は、標準的な使用条件での目安です。必要に応じてお手入れをお願い致します。（49ページ「標準的な使用条件」参照）

毎日のお手入れ … リンスキーによるリンス洗浄

月に一度のお手入れ … ⑥⑦と別売置台の排水受けの排水口

週に一度のお手入れ … ①②③④⑤と湯タンクの排水

年に一度のお手入れ … 冷却用タンクの水の交換



※ 原料容器、原料シュート、ミキシングボールは機種によって個数が異なります。詳しくは19ページ「原料の入れかた」をご覧ください。

HTC-1046L … 4個
HTC-836L … 3個
HTC-626L … 2個

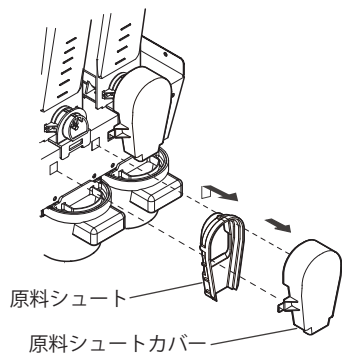
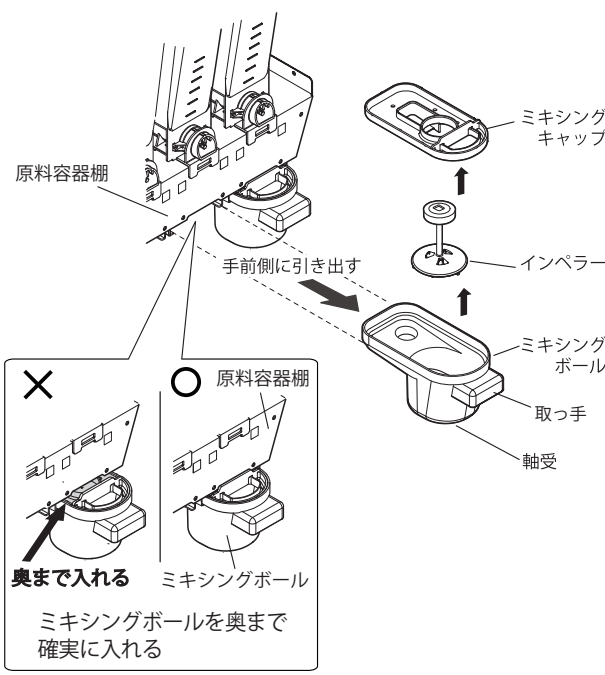
毎日のお手入れ

手順にしたがい部品を取りはずしてください。取り付けは逆の手順でおこないます。
機械内外のホコリや汚れは、きれいな布でふき取ります。

手順	部 品	お手入れのしかた
—	ミキシングボール 集 合 ロ ー ト	コントローラーの リンス キーを押して湯を流し、飲料通過部分（ミキシングボール・集合ロート）を洗い流してください。 また、この操作は自動※でおこなうこともできます。 ※出荷時は、毎朝7:00の自動リンスが設定されています。 自動リンスの設定は変更できます。（31～32ページ参照）

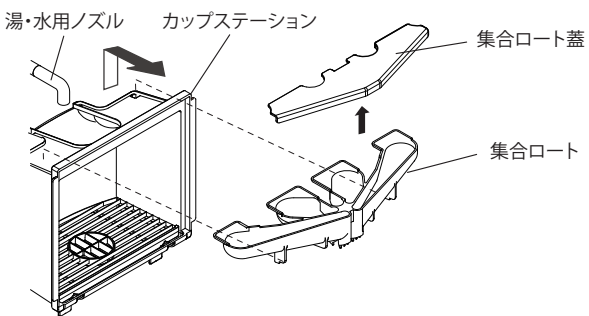
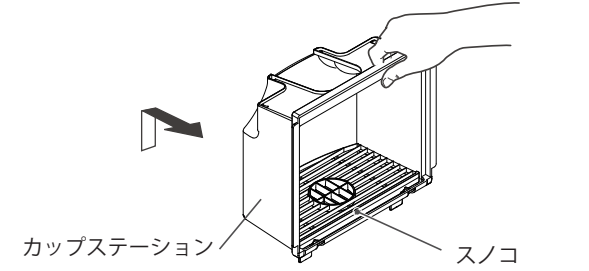
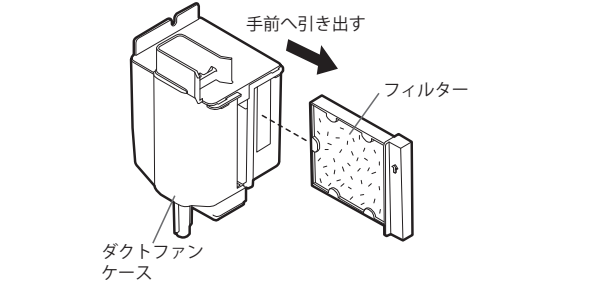
週に一度のお手入れ

手順にしたがい部品を取りはずしてください。
取り付けは逆の手順でおこないます。

手順	部 品	お手入れのしかた
①	原 料 シ ュ ー ト	上に軽く持ち上げてから、手前にはずし、原料シュートと原料シュートカバーを分解してください。 洗浄した後、水気をよく切り、十分に乾燥させてから取り付けてください。  原料シュート 原料シュートカバー
②	ミキシングボール	ミキシングボール前側の取っ手を持って手前に引いてはずし、ミキシングキャップとインペラーを取りはずします。 洗浄した後、水気をよく切り、取り付けてください。 <取り付けるとき> (1) インペラーの先端が、ミキシングボールの軸受の中に入るように組み合わせ、上からミキシングキャップをはめ込み、インペラーがスムーズに回転することを確認してから、本体に取り付けてください。 (2) ミキシングキャップが浮くことがないように、ミキシングボールに確実にはめ込んでください。 (3) ミキシングボールは、原料容器棚に奥まで確実に挿入してください。奥まで挿入されていないと、動作不良や故障の原因となります。  原料容器棚 ミキシングキャップ インペラー ミキシングボール 取っ手 軸受 手前側に引き出す × 〇 原料容器棚 奥まで入れる ミキシングボール ミキシングボールを奥まで確実に入れる

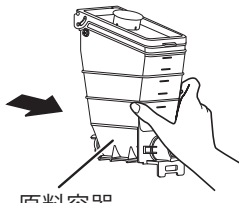
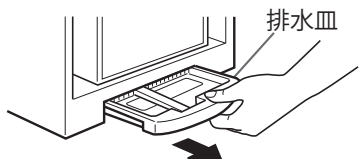
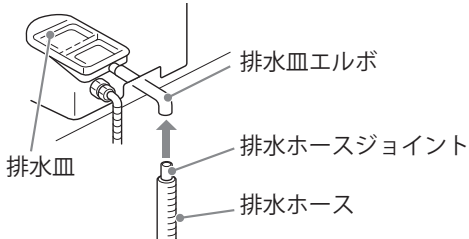
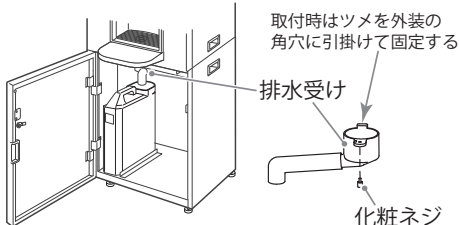
お手入れ (つづき)

週に一度のお手入れ (つづき)

手順	部 品	お手入れのしかた	
③	集 合 ロ ー ト	集合ロート蓋をはずし、湯・水用ノズルを集合ロートから抜きとり、カップステーションの上に乗っている集合ロートははずします。 洗浄した後、水気をよく切り、十分に乾燥させてから取り付けてください。 <取り付けるとき> (1) 本体に取り付けてあるカップステーションの上に、集合ロートを取り付けます。 このとき、集合ロートの左右2ヶ所のツメが、カップステーション上面の各穴に確実に入るようにします。集合ロートのツメがはずれていると、集合ロートが傾き、飲料抽出時に飲料が漏れるなど、動作不良や故障の原因となります。 (2) 集合ロートの中央奥側の穴に湯・水用ノズルを確実に挿入してから、集合ロート蓋を浮き上がることがないように、確実に取り付けます。 湯・水用ノズルや集合ロート蓋が正しく挿入されていないと、飲料抽出時に飲料が漏れるなど、動作不良や故障の原因となります。	湯・水用ノズル カップステーション 集合ロート蓋 集合ロート  ✕ ○ 集合ロートのツメ カップステーション上面穴 脱落させない 集合ロート左右2ヶ所のツメをカップステーションの穴に確実に入れる 湯・水用ノズルを集合ロートに確実に挿入してから、集合ロート蓋を取り付ける 
④	カップステーション ス ノ コ	カップステーションを少し持ち上げてから、手前に取りはずします。 洗浄した後は水気を良く切ってください。	 カップステーション スノコ
⑤	フ ィ ル タ ー	フィルターを手前に引き出し、付属のフィルターと交換してください。 ●汚れたフィルターはぬるま湯に浸け置き洗いした後、十分に乾燥させてから保管してください。	手前へ引き出す ダクトファン ケース フィルター 
—	湯 タ ン ク	湯排水コックを開き、湯タンクの水を新しい水と入れ替えてください。 (18～19ページ「排水のしかた」および、17ページ「給水のしかた」参照)	

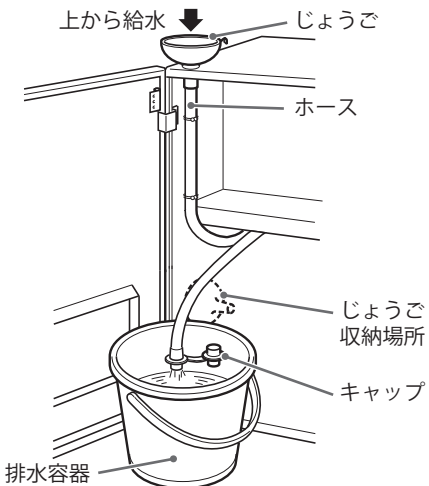
月に一度のお手入れ

①～⑤までの部品を取りはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。
取り付けは逆の手順でおこないます。

手順	部 品	お手入れのしかた	
⑥	原 料 容 器	原料容器中の原料を出して、ぬるま湯で洗浄した後、十分乾燥させてください。	 原料容器
⑦	排 水 皿	本体底部から引き出して、ぬるま湯で洗ってください。	 排水皿
		卓上の直接排水（Dタイプ）の場合は、排水皿エルボから排水ホースジョイントをはずし、排水皿を引き出してください。再度取り付ける際は、排水ホースジョイントを排水皿エルボ先端に確実に押し込み、緩みの無いことを確認してください。	 排水皿エルボ 排水ホースジョイント 排水ホース
—	置 台 排 水 口	置台上方の排水受けの排水口がゴミなどで詰まる場合があります。化粧ネジ（1本）を取り、排水受けをはずし点検してください。ゴミなどが詰まっているときは、清掃してください。	 排水受け 化粧ネジ

年に一度のお手入れ

冷却用タンクの水の交換

	お手入れのしかた	
排 水 方 法	キャップをはめたままホースをはずし、排水容器の中にホースの先端を入れ、キャップをはずし排水をします。（冷却用タンク容量：4.9L）排水が終わったら、キャップをはめて、ホースを本体にセットしてください。	
給 水 方 法	本体上部中央のネジをはずし上面板をはずしてください。ホースを本体にセットしたままキャップをはずし、上面の左手前側にある穴からじょうごを入れて、ホースの先端に差し込み、上から給水を行います。じょうごは、本体内部の左側面の下側に収納されています。タンクがいっぱいになると、溢れて排水皿に水が流れるのが見えます。給水を止め、じょうごをはずして、ホースにキャップをはめてください。	

別売部品

次のものが別売部品として用意されています。詳しくは販売店にご相談ください。
置台については「給水排水方式について」（10ページ参照）をご覧ください。

カップホルダー（MTC-101）

自動お茶いれ機本体に取り付け可能です。

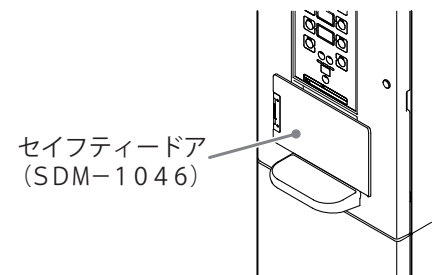
MTC-101は、カップサイズが4段階調節可能で、自動お茶いれ機本体の左右どちら側にも取り付けられます。



セイフティードア（SDM-1046）

前面板の抽出口に取り付ける扉です。

飲料抽出中やリンス中のやけど防止などに役立ちます。



除菌浄水器（水フィルター）

水道水に含まれる臭いを除去し、雑菌繁殖を防ぐためのものです。

水フィルターは性能を維持するため、定期的に交換が必要です。

詳しくは販売店にご相談ください。

自動洗浄装置（JST-20）

排水用電磁弁です。コントローラーで曜日・時刻を設定しておくと、その時刻に自動的に湯タンク内の水を排水し、再給水して新しい水と入れ替えることができます（但し直接排水できる場合に限りです）。

コイン管理装置（CB-20）

コインメカニズムを使用し、有料で抽出する飲料をコントローラーで設定することにより、コインを投入した時だけ飲料ボタンを受け付けるようにします。

漏水検知装置（RKT-25）[D/PAタイプ用]

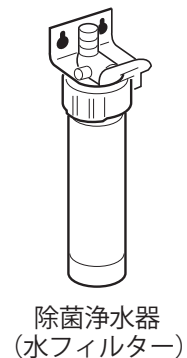
漏水センサー・外部追加の電磁弁・ドレンパンなどのセットで、万一水漏れした場合に外部追加の電磁弁を閉める機能があり、水漏れに対する安全性が向上します。

ドレンパン（RKT-01P）[PB/Tタイプ用]

置台の下に敷き、床面を汚さないようにするためのものです。大きさは524mm×574mmで、深さは約20mmです。

リード線付漏水センサー（RKT-03P）[PB/Tタイプ用]

ドレンパンとセットで使用し、万一水漏れした場合に検知します。



修理サービスを依頼する前に

(つづく)

こんなときは	調べるところ	処置のしかた																												
準備中が点灯	●コントローラーに休止モニターが表示されていませんか？	●休止モニターの表示に従ってください。 ●故障時や異常時には前面板デジタル表示部に下記の通り、故障メッセージが表示されます。 <table><tr><td>水センサー開放</td><td>F0 (F0)</td><td>漏 水</td><td>F7 (F7)</td></tr><tr><td>水センサー短絡</td><td>F1 (F1)</td><td>電池異常</td><td>F8 (F8)</td></tr><tr><td>IBC センサー 異常</td><td>F2 (F2)</td><td>コイン信号異常</td><td>F9 (F9)</td></tr><tr><td>冷水機異常</td><td>F3 (F3)</td><td>時計異常</td><td>FA (FA)</td></tr><tr><td>湯センサー開放</td><td>F4 (F4)</td><td>メモリー異常</td><td>Fb (Fb)</td></tr><tr><td>湯センサー短絡</td><td>F5 (F5)</td><td>ディストリビューター異常</td><td>Fd (Fd)</td></tr><tr><td>加温異常</td><td>F6 (F6)</td><td>基板間通信異常</td><td>FF (FF)</td></tr></table>	水センサー開放	F0 (F0)	漏 水	F7 (F7)	水センサー短絡	F1 (F1)	電池異常	F8 (F8)	IBC センサー 異常	F2 (F2)	コイン信号異常	F9 (F9)	冷水機異常	F3 (F3)	時計異常	FA (FA)	湯センサー開放	F4 (F4)	メモリー異常	Fb (Fb)	湯センサー短絡	F5 (F5)	ディストリビューター異常	Fd (Fd)	加温異常	F6 (F6)	基板間通信異常	FF (FF)
	水センサー開放	F0 (F0)	漏 水	F7 (F7)																										
水センサー短絡	F1 (F1)	電池異常	F8 (F8)																											
IBC センサー 異常	F2 (F2)	コイン信号異常	F9 (F9)																											
冷水機異常	F3 (F3)	時計異常	FA (FA)																											
湯センサー開放	F4 (F4)	メモリー異常	Fb (Fb)																											
湯センサー短絡	F5 (F5)	ディストリビューター異常	Fd (Fd)																											
加温異常	F6 (F6)	基板間通信異常	FF (FF)																											
●「学習省エネ運転」・「週間予約」・「休日予約」による休止中ではありませんか？	●運転再開まで待つか、「タイマー一時解除」キーで一時的解除してください。 ●前面板操作部の「沸上げ」ボタンで湯タンクを沸き上げ、適温になれば温飲料は抽出できます。																													
湯が沸かない	●電源プラグがはずれていませんか？	●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。																												
	●電源スイッチが切れていませんか？	●電源スイッチを入れてください。																												
	●水タンクに水は充分入っていますか？ (下部給水タイプの場合)	●水タンクの残水量が少なくなると本体へ給水しなくなり、湯タンクの水位が下がりヒーターに通電されなくなります。タンクに水を補給してください。																												
	●断水していませんか？または給水配管の止水栓が閉まっていますか？(水道直結タイプの場合)	●同上の理由でヒーターに通電されなくなります。給水配管の止水栓を開いてください。																												
	●「週間予約」・「休日予約」の休止中ではありませんか？	●運転再開まで待つか、「タイマー一時解除」キーで一時的解除してください。																												
●「学習省エネ運転」による湯タンク沸き上げ停止中、または「エコモード運転」による湯タンク省エネ運転中ではありませんか？	●「タイマー一時解除」キーで一時的解除するか、前面板操作部の「沸上げ」ボタンで湯タンクを沸き上げてください。																													
湯がぬるい	●湯温の設定が低くなっていますか？	●お望みの温度に設定してください。																												
	●湯排水コックはしっかりと閉まっていますか？	●湯が流れ出て、常に新しい水が入っているためです。湯排水コックはしっかりと閉めてお使いください。																												
	●水タンクには水は充分入っていますか？ (下部給水タイプの場合)	●水を補給してください。 約40分で沸き上がります。																												
	●断水していませんか？または給水配管の止水栓が閉まっていますか？(水道直結タイプの場合)	●給水配管の止水栓を開いてください。																												
	●「学習省エネ運転」による湯タンク沸き上げ停止中、または「エコモード運転」による湯タンク省エネ運転中ではありませんか？	●「タイマー一時解除」キーで一時的解除するか、前面板操作部の「沸上げ」ボタンで湯タンクを沸き上げてください。																												
冷水の冷えがわるい	●本体後面の排気口が塞がっていませんか？	●本体を壁などの障害物から離してください。																												
	●直射日光が当たっていませんか？	●窓にブラインドなどをしてください。																												
	●近くに熱器具がありませんか？	●熱器具と離してください。																												
	●連続して多量の冷水を取り出した後ではありませんか？	●再び冷えるまでしばらくお待ちください。 約10分で適温となります。																												
	●冷却用タンクに水が充分入っていますか？	●冷却用タンクに給水してください。																												
	●「学習省エネ運転」による冷水機省エネ運転中、または冷水機運転停止中ではありませんか？	●運転再開まで待つか、「タイマー一時解除」キーで一時的解除してください。																												
排水ランプが点滅	●置台の排水タンクが満水ではありませんか？	●排水タンクの水をすててください。																												
断水ランプが点滅	●水タンクに水は充分入っていますか？ (下部給水タイプの場合)	●水を補給してください。																												
	●冷却用タンクに水が充分入っていますか？	●冷却用タンクに給水してください。																												
	●断水していませんか？ または給水配管の止水栓が閉まっていますか？ (水道直結タイプの場合)	●給水配管の止水栓を開いてください。																												
	●湯タンクの水位が低くありませんか？	●湯タンクへの給水を確認してください。																												

修理サービスを依頼する前に (つづき)

こんなときは	調べるところ	処置のしかた
運転音が大きい	●機体が不安定ではありませんか？	●丈夫で平坦な場所に据えつけ、機体がグラグラしないように安定させてください。
	●機体が他の製品に触れていませんか？	●他の製品から離してください。
飲料の味が薄い 飲料の味が濃い	●コントローラーの湯・水・原料の量は適切ですか？	●湯・水・原料の量、基準値をお好みの味となるように再設定してください。
	●原料の種類をかえていませんか？	●指定の専用原料をご使用ください。
	●原料は十分入っていますか？	●原料を補給してください。
	●原料容器の出口がつまっていますか？	●湿気が多いと出口がつまることがありますので、原料補給時につまりを取り除いてください。
	●原料シュートは取り付けられていますか？	●原料シュートを取り付けてください。原料シュートがないと原料が飛び散ります。

仕 様

項 目		給 茶 部	冷 水 部
製 品 寸 法		巾450mm×奥行500mm×高さ880mm（置台組合せ1,530mm）	
製 品 質 量		37kg〔HTC-1046L〕／37kg〔HTC-836L〕／36kg〔HTC-626L〕	
タ ン ク 容 量		5.6L	4.9L
湯・冷水温度		約95℃（80～98℃可能）	約4℃
原 料 容 器		4個〔HTC-1046L〕／3個〔HTC-836L〕／2個〔HTC-626L〕	
原料容器の容量		約800ml	
給 水 管 口 径		G1/2A	
電 気 定 格	電 源	単相交流100V 50／60Hz共用	
	消費電力	1,040W〔HTC-1046L〕／1,030W〔HTC-836L・HTC-626L〕	175/190W
表 示		LEDランプ	
加 熱 装 置	電熱装置	シーズ線ヒーター（1,000W）	—
	温度調節	サーミスタによる電子コントロール	—
	安全装置	温度過昇防止器	—
冷 却 装 置	圧 縮 機	—	完全密閉型
	凝 縮 器	—	プレートフィン付チューブ（強制空冷）
	冷 媒	—	フロンHFC-134a（70g）
	温度調節	—	IBC（アイスバンクコントロール）
付 属 品		取扱説明書、鍵、フィルター、 ^{（注1）} 商品ラベル、 ^{（注1）} 商品ラベルセット、カップ置台、排水皿エルボ	

（注1） 商品ラベルは前面板操作部に飲料種類を表示するラベルで、商品ラベルセットは原料名の印刷されたシールです。これらは、工場出荷時に表示してある飲料以外の飲料を抽出する場合に使用します。
商品ラベルの中から抽出する飲料のラベルを選び、前面板の商品ラベルと入れ替えてください。
次に19ページの飲料ボタンと原料容器の関係を見ながら、商品ラベル横の飲料ボタンに対応する原料の商品ラベルセット（シール）を、原料容器と原料容器棚後部のラベルに、上から貼ってください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証期間

- この自動お茶いれ機の保証期間は、お買い上げいただいた日から1年です。

修理を依頼されるときは

46～47ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は.....
販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎている場合は.....
保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み.....

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容.....

品名	自動お茶いれ機
形名	HTC-1046L/HTC836L/HTC-626L
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	お買い上げの販売店名を記入しておくとう便利です。 TEL.

長年ご使用の自動お茶いれ機の点検を！

このような症状はありませんか。	●ブレーカーがたびたび切れる。 ●電源コードや電源プラグに過熱や破損がある。 ●運転音が異常に大きい。 ●電源スイッチの動作が不確実。 ●その他の異常・故障がある。	▶	ご使用中	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
-----------------	--	---	------	---

⚠ 長期使用製品の安全に関するお願い

⚠ 長期使用製品の安全に関する表示

■設計上の標準使用期間：7年（製造年：本体内に西暦年をラベルで表示しています。）

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発煙・発火の事故に至るおそれがあります。

■設計上の標準使用期間とは

運転時間や温湿度など、下記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。

また、一般的な故障を保証するものではありません。

■経年劣化とは

長期間に渡る使用や放置にともない生じる劣化をいいます。

標準的な使用条件と異なる場合、本来の使用目的以外や改造等で使用された場合、短い期間で故障や経年劣化による発煙・発火の事故に至るおそれがあります。

■標準的な使用条件

区 分	項 目	条 件
環 境 条 件 (屋内使用)	電圧	交流100V
	周波数	50Hz／60Hz
	室温	1℃～35℃
	湿度	85%以下
負 荷 条 件	給水圧	0.1MPa～0.75MPa
	給水温度	1℃～30℃
	負荷	12時間／日 使用
使 用 条 件	1日使用杯数	100杯
	1ヶ月使用杯数	2,000杯
	1年間使用杯数	24,000杯

⚠ この自動お茶いれ機は長期使用安全のため 使用開始から10年で全運転を停止します

■この自動お茶いれ機は、使用開始時（設置してはじめて電源を入れたとき）からタイマーによるカウントを開始し、10年経過した時点で全運転を停止（すべてのランプ表示が消灯）する仕様になっています。

※電源を切っている間もタイマーのカウントは継続されます。

■全運転を停止する90日前から、コントローラーの液晶画面に停止までの残り日数を表示します。
お早目に販売店にご相談ください。

この自動お茶いれ機の設計上の標準使用期間は7年となっております。
より安全にご使用いただくため、お早目の交換、メンテナンスをいただけますよう
ご理解とご協力をお願いいたします。

MEMO

This image shows a full page of a handwriting practice worksheet. It consists of multiple sets of three horizontal dashed lines, providing a guide for letter height and placement. The lines are evenly spaced and extend across the entire width of the page. There is no text or other markings on the paper.

